

**平成22年度
教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書**

平成23年9月
尾道市教育委員会

目 次

はじめに	1
点検及び評価の方法	2
学識経験者の知見の活用	2
教育委員会の活動状況	3
施策・事業の点検及び評価	8
施策・事業の体系	8
評価・点検シート	
1 夢と志を抱く子どもの育成	
(1) 確かな学力の向上	11
(2) 豊かな人間性の育成	19
(3) 信頼される学校づくり	24
2 学校・家庭・地域の協働による教育環境づくり	
(1) 家庭・地域の教育力の向上と活用	35
(2) 地域との協働による青少年の健全育成	38
(3) 安全・安心で質の高い学校施設整備	40
3 集い・学び・生かす生涯学習の推進	
(1) 多彩で活力あふれる生涯学習の充実	43
(2) スポーツを楽しみ体力と健康を増進する環境づくり	45
4 芸術・文化の継承と創造	
(1) 心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進	49
(2) 個性を生かした芸術・文化施設の充実と連携	58
学識経験者の意見等	65

はじめに

尾道市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条により、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書を作成しました。

この報告書は、施策・事業への取組状況、成果、課題等について点検及び評価を行い、学識経験者の意見をいただくことにより、今後の事務改善等に反映させるものです。

また、報告書では、教育に関する施策・事業ごとに取組状況を整理し、成果を具体的な数値指標で示す等、市民の皆様へ、わかりやすい点検及び評価に努めました。

教育委員会では、この点検及び評価の結果を今後の取組に活かし、さらに本市の教育行政について説明責任を果たすことにより、市民に信頼される教育行政を推進してまいります。

今後とも、尾道の教育に、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成19年6月27日改正、平成20年4月1日施行）

点検及び評価の方法

尾道市教育委員会は、平成22年度に実施した事務の管理及び執行の状況について、その施策・事業の目的、内容、取組の状況を整理し、その施策・事業の成果と課題を点検し、評価しました。

この報告書では、点検及び評価項目は施策体系、重点目標ごとに、さらに各施策・事業に分類しています。

また、施策・事業ごとに、取組状況を整理し、成果をより明確に把握するため、具体的な数値目標を設定することで、施策・事業の成果と課題を明らかにし、わかりやすい点検及び評価に努めました。

学識経験者の知見の活用

尾道市教育委員会では、点検及び評価の結果に関する報告書の作成にあたり、学識経験者の知見の活用を行っています。

教育に関し学識を有する方々から、点検及び評価の内容等について貴重なご意見をいただきました。

これらの貴重なご意見を今後の施策・事業の取組に活かし、教育行政を推進してまいります。

教育委員会の活動状況

年	月 日	内 容
平成22年	4月15日	第1回広島県市町教育長会議
	4月22日	広島県都市教育長会春の総会
	4月28日	第6回教育委員会定例会
	5月11日	第1回東部教育事務所管内教育長会議
	5月24日	広島県市町教育委員連合会定期総会
	5月26日	第7回教育委員会定例会
	6月28日	第8回教育委員会定例会
	7月20日	第2回東部教育事務所管内教育長会議
	7月29日	第9回教育委員会定例会
	8月26日	第10回教育委員会定例会
	9月28日	第3回東部教育事務所管内教育長会議
	9月29日	第11回教育委員会定例会
	10月16日	広島県都市教育長会秋の総会
	10月25日	第12回教育委員会定例会
	11月 4日	第4回東部教育事務所管内教育長会議
	11月17日	広島県市町教育委員会連合会教育委員研修会
	11月22日	第13回教育委員会定例会
	12月22日	第14回教育委員会定例会
平成23年	1月19日	第5回東部教育事務所管内教育長会議
	1月21日	第2回広島県市町教育長会議
	1月28日	第1回教育委員会定例会
	2月21日	第2回教育委員会定例会
	3月 7日	臨時広島県市町教育長会議
	3月12日	第3回教育委員会臨時会
	3月24日	第4回教育委員会定例会

平成22年度教育委員会議案

平成22年度において、教育委員会議で審議された議案等は以下のとおりです。
それぞれの審議概要、結果につきましては、教育委員会のホームページに掲載し、公表してま
す。

	回	議案番号等	議案等の名称	
平成22年 4月28日	6	定例	議案 24	尾道市社会教育委員の委嘱について
			議案 25	美術振興小林和作基金運用委員会委員の委嘱について
			議案 26	尾道市学校評議員の委嘱について
			議案 27	尾道市学校関係者評価委員の委嘱について
			議案 28	尾道市就学指導委員会委員の委嘱及び任命について
			報告 19	嘱託給食調理員設置要綱の一部を改正する要綱について
			報告 20	尾道市次世代育成のための電子メディア対策実施計画について
5月26日	7	定例	議案 29	尾道市立幼稚園保育料及び預り保育保育料の減免に関する規則の一部を改正する規則案
			議案 30	尾道市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則案
			議案 31	尾道市学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱及び任命について
			議案 32	尾道市放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱及び任命について
			議案 33	尾道市文化財保護委員の委嘱及び任命について
			議案 34	市長が定める「尾道市立図書館設置条例及び芸予文化情報センター設置及び管理条例の一部を改正する条例案」に対する意見の申し出について
			議案 35	尾道市図書館協議会委員の解職及び任命について
			議案 36	芸予文化情報センター運営協議会委員の解職及び委嘱等について
			議案 37	市長が定める「市立学校に於ける授業料その他の費用に関する条例の一部を改正する条例案」に対する意見の申し出について
			議案 38	尾道市就学指導委員会委員の委嘱について
			議案 39	平成23年度に尾道市立小中学校で使用使用する教科用図書の採択について
			議案 40	尾道市教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について
			報告 21	平成22年3月尾道市立中学校卒業者の進路状況について
6月28日	8	定例	議案 41	尾道市学校給食共同調理場運営委員会委員の任命及び委嘱について
			議案 42	広島県尾道南高等学校学則の一部を改正する規則案
			議案 43	平成23年度に広島県尾道南高等学校で使用使用する教科用図書の採択基本方針について
			報告 22	平成22年度教育委員会補正予算要求書
			報告 23	教育委員会ISO推進委員会設置要綱について
			報告 24	尾道市類似幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
			報告 25	尾道市学校教育用情報機器選定検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱について
			報告 26	平成22年度学力定着実態調査の結果について
			報告 27	平成22年度「教育課題解決パイロット校」及び平成22年度「教育研究校」について
			報告 28	専決処分報告及びこれが承認を求めることについて

7月29日	9	定例	議案	44	文化ホール運営委員会委員の委嘱について
			議案	45	尾道市立美術館運営委員会委員の解嘱について
			議案	46	平成23年度尾道市立高等学校入学者選抜の基本方針について
			報告	29	アレルギー疾患に対する取り組みマニュアルについて
			報告	30	学校給食における食物アレルギー対応の手引きについて
			報告	31	文化財登録原簿への登録手続について
			報告	32	尾道市特定事業主行動計画(後期)について
			報告	33	尾道市教育委員会特定事業主行動計画(後期)について
			報告	34	専決処分報告及びこれが承認を求めることについて
			報告	35	専決処分報告及びこれが承認を求めることについて
8月26日	10	定例	議案	47	民事調停の申立てに対する意見の申し出について
			議案	48	市長が定める「しまなみ交流館設置及び管理条例の一部を改正する条例案」に対する意見の申し出について
			議案	49	市長が定める「芸予文化情報センター設置及び管理条例の一部を改正する条例案」に対する意見の申し出について
			議案	50	尾道市立美術館協議会委員の委嘱及び任命について
			議案	51	美術振興小林和作基金運用委員会委員の委嘱及び任命について
			議案	52	平成23年度尾道市立小学校及び中学校の学校選択制度の実施について
			議案	53	平成23年度使用小学校用教科用図書の採択について
			議案	54	平成23年度に尾道市立小学校及び中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
			議案	55	財産の取得に対する意見の申し出について
			議案	56	財産の取得に対する意見の申し出について
			報告	36	平成22年度教育委員会補正予算要求書
			報告	37	専決処分の報告について
			報告	38	専決処分の報告について
			報告	39	尾道市立小・中学校修学旅行実施基準の全部改正について
9月29日	11	定例	議案	57	平成21年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について
			議案	58	尾道市公民館嘱託館長の解嘱及び委嘱について
			議案	59	尾道市立図書館規則の一部を改正する規則案
			議案	60	美術振興小林和作基金運用委員会への諮問について
			議案	61	広島県尾道南高等学校学則の一部を改正する規則案
			議案	62	土堂小学校学校運営協議会委員の委嘱について
			報告	41	尾道市マリン・ユース・センター指定管理者選定委員会設置要綱について
			報告	42	広島県指定文化財への指定手続について
			報告	43	平成22年度「基礎・基本」定着状況調査の結果について
			報告	44	平成22年度全国学力・学習状況調査の結果について
10月25日	12	定例	議案	63	美術振興小林和作基金運用委員会の答申及び美術振興小林和作基金運用規則第2条第1項にかかる平成22年度の被表彰者について
11月22日	13	定例	議案	64	「公の施設の指定管理者の指定について」に対する意見の申し出について(尾道市マリン・ユース・センター)
			議案	65	「公の施設の指定管理者の指定について」に対する意見の申し出について(平山郁夫美術館)
			報告	45	平成22年度教育委員会補正予算要求書
			報告	46	子ども手当の代理受領及び保育料の代理納付に関する要綱について
			報告	47	平成21年度尾道市立美術館美術作品の寄贈について
			報告	48	平成22年度職場体験実施状況について

12月22日	14	定例	その他	委員長及び職務代理者の選挙について		
				報告	49	尾道市公民館団体登録利用要綱の一部を改正する要綱について
				報告	50	平成23年度学校選択制度による入学予定者数について
平成23年 1月28日	1	定例		議案	1	市長が定める「尾道市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例案」に対する意見の申し出について
				議案	2	「公の施設の指定管理者の指定について」に対する意見の申し出について(尾道市御調グラウンド・ゴルフ場)
				議案	3	「公の施設の指定管理者の指定について」に対する意見の申し出について(尾道市因島運動公園)
				議案	4	「公の施設の指定管理者の指定について」に対する意見の申し出について(尾道市因島市民会館)
				議案	5	「公の施設の指定管理者の指定について」に対する意見の申し出について(尾道市立圓鏝勝三彫刻記念公園)
				議案	6	「公の施設の指定管理者の指定について」に対する意見の申し出について(芸予文化情報センター)
				議案	7	市長が定める「尾道市嘗因島ひまわりプール設置及び管理条例を廃止する条例案」に対する意見の申し出について
				議案	8	市長が定める「尾道市因島棕の里ゆうあいランド設置及び管理条例の一部を改正する条例案」に対する意見の申し出について
				議案	9	市長が定める「尾道市立図書館設置条例の一部を改正する条例案」に対する意見の申し出について
				議案	10	美術振興小林和作基金運用委員会の答申及び美術振興小林和作基金運用規則第2条第3項にかかる平成22年度の被表彰者について
				報告	1	平成22年度 教育委員会補正予算要求書
				2月21日	2	定例
議案	12	尾道市立美術館協議会規則の一部を改正する規則案				
議案	13	尾道市立美術館協議会委員の委嘱について				
報告	2	平成23年度教育委員会当初予算要求書				
3月12日	3	臨時		議案	14	県費負担教職員(管理職)の進退について内申すること
3月24日	4	定例		議案	15	尾道教育総合推進計画について
				議案	16	尾道市学校給食共同調理場設置条例施行規則の一部を改正する規則案
				議案	17	尾道市公立学校の校長及び幼稚園の園長に対する事務委任に関する規程の一部を改正する訓令案
				議案	18	教育委員会事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則案
				議案	19	尾道市公民館嘱託館長の委嘱について
				議案	20	尾道市体育指導委員の委嘱について
				議案	21	尾道市嘗因島ひまわりプール設置及び管理条例施行規則を廃止する規則案
				議案	22	尾道市立図書館規則の一部を改正する規則案
				議案	23	美術振興小林和作基金運用規則の一部を改正する規則案
				議案	24	美術振興小林和作基金運用委員会委員の解嘱及び解任について
				議案	25	教育委員会の管理職職員の任免を行うことについて
				議案	26	尾道市立小学校、中学校及び幼稚園の管理並びに学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案
				報告	3	尾道市因島地域私立幼稚園教育振興補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
				報告	4	尾道市立美術館運営委員会設置要綱を廃止する要綱について
報告	5	尾道市立美術館美術品等収集評価専門委員会設置要綱を廃止する要綱について				
報告	6	尾道市子どもの読書活動推進計画について				

教育委員名簿

(平成23年7月1日現在)

職名	氏名	任期
委員長	山北 篤	平成21年 1月 1日～平成24年12月31日
委員長職務代理者	中司 弘子	平成21年 6月29日～平成25年 6月28日
委員	村井 圭一	平成22年 3月24日～平成26年 3月23日
委員	中田 富美	平成23年 6月29日～平成27年 6月28日
教育長	半田 光行	平成21年 4月 1日～平成25年 3月31日

退任された教育委員

委員	加藤 晴彦	平成23年5月8日退任
----	-------	-------------

施策・事業の点検及び評価

施策・事業の体系 (54項目)

政策の柱 1 夢と志を抱く子どもの育成

基本方針	重点目標		施策・事業名	担当課	頁	
確かな学力の向上	1-1-1	「学ぶ」基盤の確立と 学力向上	基礎的・基本的な知識・技能の習得	教育指導課	11	
			学習意欲の向上や学習習慣の確立	教育指導課	12	
			思考力・判断力・表現力の育成	教育指導課	13	
	1-1-2	社会の変化に対応した 教育活動の推進	幼児教育の充実	教育指導課	14	
			特別支援教育の充実	教育指導課	15	
			キャリア教育の充実	教育指導課	16	
			国際理解教育の充実	教育指導課	17	
			情報教育の充実	教育指導課	18	
	豊かな人間性の育成	1-2-1	豊かな心の育成	豊かな体験活動の充実	教育指導課	19
				公共心・道徳性の涵養	教育指導課	20
生徒指導の充実				教育指導課	21	
1-2-2		健やかな体の育成	体力づくりの充実	教育指導課	22	
			食育・健康教育の充実	教育指導課	23	
			活力・魅力ある学校づくりの推進	教育指導課	24	
信頼される学校づくり	1-3-1	特色ある学校づくりの 推進	尾道南高等学校の教育活動を充実する 取組	学校経営企画課	25	
			学校選択制度を充実する取組	教育指導課	26	
			学校共同事務の効率的な運用を図る取 組	学校経営企画課	27	
			小中学校適正配置の推進	学校経営企画課	28	
			地域に開かれた学校づくり	学校経営企画課	29	
			是正指導の徹底	学校経営企画課	30	
	1-3-2	学校経営改革の推進	学校の自主性・自律性の確立	学校経営企画課	31	
			教職員の資質・指導力の向上	教育指導課	32	
			異校種間連携教育の推進	教育指導課	33	
			自主的研修の奨励	教育指導課	34	

政策の柱 2 学校・家庭・地域の協働による教育環境づくり

基本方針	重点目標		施策・事業名	担当課	頁
家庭・地域の教育力の向上と活用	2-1-1	家庭の教育力の向上	家庭教育支援事業の推進	生涯学習課	35
	2-1-2	地域の教育力の向上と活用	ボランティア活動の推進	生涯学習課	36
			放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	37
地域との協働による青少年の健全育成	2-2-1	次代を担う青少年の健全育成	次代を担う青少年の健全育成	生涯学習課	38
	2-2-2	社会に貢献する勤労青少年の健全育成	講座等の充実による勤労青少年の健全育成	生涯学習課	39
安全・安心で質の高い学校施設整備	2-3-1	安全・安心で質の高い学校施設整備	安心・安全で質の高い学校施設整備事業	庶務課 因島瀬戸田地域教育課	40
			認定こども園の設置	庶務課	41
	2-3-2	安全・安心で質の高い学校給食施設整備	ドライシステムによる給食施設の整備	庶務課	42

政策の柱 3 集い・学び・生かす生涯学習の推進

基本方針	重点目標		施策・事業名	担当課	頁
多彩で活力あふれる生涯学習の充実	3-1-1	多彩な学習機会の提供	市民への学習機会の提供	生涯学習課	43
	3-1-2	市民が集う生涯学習拠点の確立	公民館の充実	生涯学習課	44
スポーツを楽しむ体力と健康を増進する環境づくり	3-2-1	豊かなスポーツライフの実現	生涯スポーツの推進	スポーツ振興課 因島瀬戸田地域教育課	45
			競技スポーツの向上	スポーツ振興課	46
			スポーツを通じた交流の促進	スポーツ振興課	47
	3-2-2	スポーツ施設の充実と活用	スポーツ施設の整備	スポーツ振興課 因島瀬戸田地域教育課	48

政策の柱 4 芸術・文化の継承と創造

基本方針	重点目標		施策・事業名	担当課	頁
心豊かな感性を育む 芸術・文化活動の推進	4-1-1	心豊かな感性を育む 芸術・文化活動の推進	芸術・文化行事の開催と活動支援	文化振興課	49
			囲碁のまちづくり活動の支援	文化振興課	50
			読書活動・調査研究活動への支援	図書館	51
			絵のまち尾道四季展事業・高校生絵のまち尾道四季展事業の実施	美術館	52
			尾道市美術展事業の実施	美術館	53
			アウトリーチ活動の推進	文化施設課	54
			出前読書活動	図書館	55
	4-1-2	誇りある芸術・文化の 継承と活用	文化財の継承と活用	文化振興課	56
			美術品等の収集及び調査研究の実施	美術館	57
	個性を生かした芸術・ 文化施設の充実と連携	4-2-1	魅力ある芸術・文化 施設づくり	魅力ある文化施設の充実	文化振興課 因島瀬戸田 地域教育課
市民に親しまれるホールの充実				文化施設課	59
図書館資料の整備・充実				図書館	60
魅力ある展覧会の開催等				美術館	61
協働による教育普及事業の実施				美術館	62
4-2-2		個性を生かした芸術・ 文化施設の連携	図書館の相互連携	図書館	63
			美術館の相互連携の充実	美術館	64

評価点検シート

施策・事業名	基礎的・基本的な知識・技能の習得		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	1	確かな学力の向上		
重点目標	1	「学ぶ」基盤の確立と学力向上		
目的	基礎的・基本的な知識・技能の習得			

内 容	<p>1 学力定着の実態を調査する取組 標準学力検査を小学校4年、5年の児童と、中学校1年、2年の生徒を対象に実施し、本市の児童生徒の学習内容の定着状況を客観的に把握し、その課題解決をめざす。</p> <p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る取組 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。</p>				
	取 組 状 況 と 成 果	<p>1 学力定着の実態を調査する取組 市独自の標準学力検査を実施し、児童生徒一人一人の基礎学力の定着状況を客観的に把握し、結果の分析をふまえた計画的な指導を行った。 小学校4年で国語、算数の2教科を、5年で社会、理科の2教科を実施した。全教科で、全国平均を上回った。 (全国平均との差 国語3.8 算数3.7 社会3.7 理科0.4) 中学校1年で国語、数学の2教科を、2年で社会、理科の2教科を実施した。全教科で、全国平均以上であった。 (全国平均との差 国語2.4 数学1.6 社会0.0 理科0.6)</p> <p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る取組 帯タイム、朝読書の実施を奨励した。</p>			
成果指標		20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
「基礎・基本」定着状況調査(小5・中2)通過率の県平均と本市の差	小学校 +1.2 中学校 -1.7	小学校 ± 0 中学校 -0.8	小学校 +0.6 中学校 -1.8	小学校 +2.0 中学校 ± 0	
課 題	<p>1 学力定着の実態を調査する取組 中学校の取組に特に重点を置き、目標値に近づけることが必要である。</p> <p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る取組 取組の目的を再度確認するとともに内容・実施方法の見直しを行い、目標値に近づけることが必要である。</p>				
	各種計画掲載	市総合計画	新市建設計画	さくらプラン2	
	つくしプラン	そ の 他	()	

評価点検シート

施策・事業名	学習意欲の向上や学習習慣の確立		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	1	確かな学力の向上		
重点目標	1	「学ぶ」基盤の確立と学力向上		
目的	学習意欲の向上や学習習慣の確立			

内 容	<p>1 きめ細やかな指導を推進する取組 児童生徒の習熟の程度等、個に応じたきめ細やかな指導をするため、学校支援を行う。</p> <p>2 家庭学習を充実する取組 自主的に基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、学習習慣の確立を図る。</p> <p>3 「広島県科学賞」への出品を奨励する事業 論理的に考え、表現する力を育成し、科学的思考力、知的好奇心、探究心を高める。</p> <p>4 各種検定の受検を奨励する取組 目的をもった学びの楽しさを体験させ、学ぼうとする意欲を高める。</p>				
	取 組 状 況 と 成 果	<p>1 きめ細やかな指導を推進する取組 個に応じた指導を充実するために、教科アシスタント（8名）や学習支援講師（3名）を配置し、少人数指導が実施でき、学校を支援することができた。</p> <p>2 家庭学習を充実する取組 家庭における学習の充実のために、継続して家庭学習ノートを奨励し、家庭との連携を深めてきた。</p> <p>3 「広島県科学賞」への出品を奨励する事業 科学的思考力、自ら学ぶ意欲や知的好奇心、探究心を高め、学んだこと・調べたことなどを論理的に考え表現する力を育成するという、「子ども科学展」の趣旨についての理解が深まり、小学校3,873名、中学校2,149名と応募総数が増加した。</p> <p>4 各種検定の受検を奨励する取組 児童生徒が目的意識をもち受検するために実施の通知をし、多くの学校で受検した。</p>			
成 果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	「広島県科学賞」への出品者数割合（小3以上）	小学校 69.4% 中学校 53.3%	小学校 68.1% 中学校 57.4%	小学校 69.3% 中学校 58.7%	小学校 80.0% 中学校 80.0%
課 題	<p>1 きめ細やかな指導を推進する取組 少人数別指導に焦点をあてた校内研修を実施することが必要である。</p> <p>2 家庭学習を充実する取組 家庭学習の充実に向けた研修会を実施するとともに、家庭との連携の継続により、家庭学習の時間を増やすことが必要である。</p> <p>3 「広島県科学賞」への出品を奨励する事業 科学研究のレベルアップのための教職員の研修の充実を図ることが必要である。</p> <p>4 各種検定の受検を奨励する取組 奨励の時期を早めるとともに、目的意識を持たせることにより、受検者を増やすことが必要である。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	思考力・判断力・表現力の育成		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	1	確かな学力の向上		
重点目標	1	「学ぶ」基盤の確立と学力向上		
目的	思考力・判断力・表現力の育成			

内 容	<p>1 ことばの教育を充実する取組 確かな学力の向上と豊かな人間性の育成を図ることをめざし、学習や生活の基盤となる「ことばの教育」を教育活動全般で推進する。</p> <p>2 読書活動を推進する取組 本への興味を持ち、自主的な読書活動を行う子どもの育成をめざし、読書活動の充実及び学校図書館の活性化を推進する。</p> <p>3 「論理的な思考力」「豊かな感受性」「豊かな表現力」の育成を図る各種コンクールの実施 思考力・表現力育成をねらいとし、各種コンクールを実施する。</p>				
	取 組 状 況	<p>1 ことばの教育を充実する取組 講師を招聘し、計画的に研修会を年間2回実施した。</p> <p>2 読書活動を推進する取組 地域の特色を生かし保護者、地域と一体となった学校図書館を整備した。</p> <p>3 「論理的な思考力」「豊かな感受性」「豊かな表現力」の育成を図る各種コンクールの実施 俳句コンクール小学生約1,300人、論文コンクール中学生約1,200人が参加した。</p>			
と 成 果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	「基礎・基本」定着状況調査(小5・中2)児童・生徒質問紙の「理由をつけて話す」児童・生徒の割合	小学校 60.7% 中学校 53.8%	小学校 67.2% 中学校 52.4%	小学校 64.7% 中学校 58.1%	小学校 70.0% 中学校 60.0%
課 題	<p>1 ことばの教育を充実する取組 新しい学習指導要領で求められる発達段階に応じた各教科における言語活動の工夫を全校で行っていくことが必要である。</p> <p>2 読書活動を推進する取組 学校図書館を活用した授業を計画的に実施する学校数を増やしていくことが必要である。</p> <p>3 「論理的な思考力」「豊かな感受性」「豊かな表現力」の育成を図る各種コンクールの実施 各校においてこれまでの成果を活かした取組を継続していくことが必要である。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	幼児教育の充実		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	1	確かな学力の向上		
重点目標	2	社会の変化に対応した教育活動の推進		
目的	幼児教育の充実			

内 容	<p>1 尾道つくしプランの実施 学校教育への円滑な接続と就学前の学びをふまえた指導の充実を図る。</p> <p>2 基本的な生活習慣の定着を推進する取組 家庭との連携を行い、基本的な生活習慣を身につける取組を推進する。</p> <p>3 コミュニケーション力の育成を推進する取組 人と主体的にかかわることができる力を育成するための体験活動を推進する。</p>				
	取 組 状 況	<p>1 尾道つくしプランの実施 尾道つくしプランの評価対象とした26の取組のうち、21の取組で活動目標を達成した。</p> <p>2 基本的な生活習慣の定着を推進する取組 「早寝・早起き・朝ご飯」の取組を全幼稚園で実施した。</p> <p>3 コミュニケーション力の育成を推進する取組 幼小連携教育を推進する学校が増加した。(21/31校)</p>			
と 成 果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	尾道市食育に関する取組状況票の「朝食を毎日食べる」幼児(1歳半・3歳)の割合	-	-	92.6% (1歳半) 95.0% (3歳)	
課 題	<p>1 尾道つくしプランの実施 幼保小中合同研修会を実施し、尾道つくしプランの各事業の趣旨の共有化を図ることが必要である。</p> <p>2 基本的な生活習慣の定着を推進する取組 「早寝・早起き・朝ご飯」の取組についての情報発信の工夫等、家庭との連携をさらに推進していくことが必要である。</p> <p>3 コミュニケーション力の育成を推進する取組 幼小連携教育を推進する学校を増やしていくことが必要である。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	特別支援教育の充実		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	1	確かな学力の向上		
重点目標	2	社会の変化に対応した教育活動の推進		
目 的	特別支援教育の充実			

内 容	1 特別支援教育を充実する事業 (1) 教育的ニーズを的確に把握し、適切な指導助言及び連携等を図るため研修会を実施する。 (2) 幼児児童生徒の自立と社会参加に向けた支援を充実させるため、有識者による委員会や相談活動を実施する。				
	取 組 状 況 と 成 果	1 特別支援教育を充実する事業 (1) 大学教授を講師に招聘し、特別支援教育コーディネーター研修会を1回実施した。また、小児科医を講師に招聘し、特別支援教育講座を1回実施した。 (2) 「尾道市の特別支援教育の方向性」を議題として特別支援教育推進委員会を1回実施した。また、大学教授、助教授、保育士等による幼稚園、小学校、中学校への教育支援訪問相談を36回実施した。			
成果指標		20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
研修受講者の肯定的評価		86%	88%	87%	⇨
課 題	1 特別支援教育を充実する事業 (1) 演習型の研修方法等、研修内容をさらに充実させていくことが必要である。 (2) 事例検討等、委員会の内容をさらに充実させていくことが必要である。また、相談活動の実施にあたっては、相談員の日程調整が必要である。				
	各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画	さくらプラン2
	つくしプラン		そ の 他	()	

評価点検シート

施策・事業名	キャリア教育の充実		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	1	確かな学力の向上		
重点目標	2	社会の変化に対応した教育活動の推進		
目的	キャリア教育の充実			

内 容	<p>1 職業観、勤労観の育成を図る職場見学・職場体験の実施 適切な職業観、勤労観の育成を目指し、職場見学・職場体験を実施する。</p> <p>2 夢と志の育成を図るおのみち「立志式」の開催 これからの人生を逞しく生き抜こうとする自覚・意欲を高めることをめざし、すべての中学校2年生が自らの志を宣言する「志宣言」を書き、その代表が発表する「立志式」を実施する。</p>				
	取 組 状 況 と	<p>1 職業観、勤労観の育成を図る職場見学・職場体験の実施 中学校2年生が、キャリア教育の一環として5日間の職場体験を実施し、441事業所で1,159名の生徒が参加した。事業所からは、75%の肯定的な評価（「大変有意義であった」「有意義であった」）をいただいております。「職場体験は充実していた」に対する中学生の肯定的な評価も、93%（「とてもそう思う」「そう思う」）にのびている。</p> <p>2 夢と志の育成を図るおのみち「立志式」の開催 式典における、誓いのことば、激励のことばの後、5人の生徒が志宣言を行った。実施後の評価においては、90%以上の生徒が「立志式の実施」「志宣言」について肯定的な評価を行い、また、同じく93%の生徒が「立志式が自分の生き方について考えるきっかけになった」と回答している。</p>			
成 果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	「基礎基本」定着調査（小5・中2）質問紙の「夢や目標がある」児童・生徒の割合	小学校 48.2% 中学校 72.2%	小学校 90.6% 中学校 73.3%	小学校 89.1% 中学校 77.4%	⇒
課 題	<p>1 職業観、勤労観の育成を図る職場見学・職場体験の実施 職場体験学習においては、商工会議所との連携から、職場体験学習のねらいの再確認や事後の評価をもとにした各事業所と学校との事後連携を実施することが必要である。</p> <p>2 夢と志の育成を図るおのみち「立志式」の開催 「立志式」での取組を各学校の教育活動に生かせるよう、「校内立志式」に取り組む学校をさらに増やしていくことが必要である。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	国際理解教育の充実		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	1	確かな学力の向上		
重点目標	2	社会の変化に対応した教育活動の推進		
目的	国際理解教育の充実			

内 容	1 国際交流活動を推進する事業 全校に外国語指導助手(ALT)を派遣し、実践的コミュニケーション能力の育成をめざし、外国語指導助手(ALT)の授業への活用を図る。				
	1 国際交流活動を推進する事業 全小中学校へALTの派遣を行った。				
取 組 状 況					
と	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
成 果	「基礎・基本」定着 状況調査の英語の 県平均と本市の差	-1.0ポイント	+0.8ポイント	-1.8ポイント	±0ポイント
課 題	1 国際交流活動を推進する事業 (1) 小学校高学年における外国語活動の導入をふまえて、今後は特に高学年の内容の充実を図っていくことが必要である。 (2) 中学校英語担当者研修会の内容の充実を図り、「基礎・基本」定着状況調査の結果の向上をめざすことが必要である。 (3) 国際理解の視点を踏まえて、外国語指導助手(ALT)を活用した異文化理解・国際交流活動を促進することが必要である。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	情報教育の充実		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	1	確かな学力の向上		
重点目標	2	社会の変化に対応した教育活動の推進		
目的	情報教育の充実			

内 容	1 情報教育環境の整備 ICTを効果的に活用できる環境の充実を図るため、情報教育機器の整備をする。 (1) 校務用のPCを職員数比100%整備を維持する。 (2) 教員を対象としたプレゼンテーションを実施する。 (3) 電子黒板の整備を行う。 2 ICT活用指導力の向上を図る事業 教職員のICT活用能力の向上を図るため、研修会を実施する。				
	取 組 状 況 と 成 果	1 情報教育環境の整備 (1) 校務用のPCを職員数比100%整備を維持した。 (2) 教員を対象としたプレゼンテーションを1回実施した。 (3) 電子黒板を全小中学校へ1台以上整備した。 2 ICT活用指導力の向上を図る事業 教員が効果的に情報教育機器を用いた授業を行うことができるよう、児童生徒の情報活用能力の育成のあり方や情報モラルの指導のあり方、及び電子黒板の活用の仕方等を研修する情報教育担当者研修会を1回実施した。			
		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	文部科学省調査の設問「授業中にICTを活用して指導することができる」の肯定的回答割合	55.3%	56.9%	51.3%	70.0%
課 題	1 情報教育環境の整備 情報教育の環境や情報教育機器を有効に活用する指導力を育成する研修会を行うことが必要である。 2 ICT活用指導力の向上を図る事業 電子黒板の活用のあり方についての研修を継続的・実践的な内容にすることが必要である。				
各種計画掲載	総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名	豊かな体験活動の充実		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	2	豊かな人間性の育成		
重点目標	1	豊かな心の育成		
目的	豊かな体験活動の充実			

内容	<p>1 まちづくりに参画する意識を高める各種コンテストの実施 ふるさと尾道に対する郷土意識を育むため、各種コンテストへの参加を通して芸術文化都市尾道のまちづくりに参画する。</p> <p>2 中学生の交流を推進する事業 スポーツ等の交流を通して、愛校心を喚起するとともに、尾道市の中学生であることを自覚し、ともに向上しようとする意識・態度を育てる活動を展開する。</p> <p>3 小中学校の芸術活動を推進する事業 豊かな人間性を育成するために、学校教育での芸術活動を振興する。</p>				
	<p>1 まちづくりに参画する意識を高める各種コンテストの実施 小中学生環境フォトコンテストを実施した。</p> <p>2 中学生の交流を推進する事業 リーダー研修会を実施した。まちづくり参画のための協議内容の改善等により肯定的評価の割合が増加した。</p> <p>3 小中学校の芸術活動を推進する事業 感動と夢の学校音楽振興事業、小中学校音楽コンクール小中学校芸術祭を実施した。質の高い発表や作品を見ることにより、年々全体の質が向上してきている。</p>				
状況	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	広島県基礎・基本定着状況調査(小5・中2)質問紙の「地域や子ども会などの行事参加している」児童・生徒の割合	小学校 75.7% 中学校 44.9%	小学校 80.0% 中学校 47.5%	小学校 75.2% 中学校 52.6%	➡
課題	<p>1 まちづくりに参画する意識を高める各種コンテストの実施 今後も、コンクール、コンテスト等への参加率の維持が必要である。</p> <p>2 中学生の交流を推進する事業 リーダー研修会での成果を各中学校に広げるとともに、各学校の教育活動をさらに充実させる必要がある。</p> <p>3 小中学校の芸術活動を推進する事業 教員の指導技術の向上をはかり、質の向上を継続する必要がある。</p>				
	各種計画掲載	市総合計画 つくしプラン	新市建設計画 その他	さくらプラン2 ()	

評価点検シート

施策・事業名	公共心・道徳性の涵養		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	2	豊かな人間性の育成		
重点目標	1	豊かな心の育成		
目的	公共心・道徳性の涵養			

内容	<p>1 道徳性を育成する「おのみち『心の元気』ウィーク」の実施 児童生徒の道徳性の育成をめざし、学校・家庭・地域が一体となった活動を展開する。</p> <p>2 社会貢献活動を推進する取組 児童生徒の道徳性の育成をめざし、地域を中心とした社会貢献活動を推進する。</p>				
	<p>1 道徳性を育成する「おのみち『心の元気』ウィーク」の実施 全校による道徳の時間の地域公開を実施した。また、同日、学校・家庭・地域が協働して地域貢献活動を実施した。中学校参加者の評価をあげるため各学校で道徳の指導案の検討や校内研修を行った。 その結果、公開授業・地域貢献活動とも、参加者アンケートの肯定率が90%を超え、児童生徒の参加態度のよさが評価されている。</p> <p>2 社会貢献活動を推進する取組 ボランティア団体、NPO団体等と連携した各校独自の社会貢献プランを作成し実施した。また、学校、地域により取組の差があったため、地域の祭りのボランティアや高齢者交流など、地域の状況に応じて取組をすすめた。</p>				
状況と成果	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	社会貢献活動参加人数 児童生徒数に対する保護者の参加割合	4,419人	4,017人 50%	4,855人 60%	➡
課題	<p>1 道徳性を育成する「おのみち『心の元気』ウィーク」の実施 校内研修を継続、さらに発展させながら、参加者の肯定的評価を継続していく必要がある。</p> <p>2 社会貢献活動を推進する取組 地域の状況に応じた取組をさらにすすめる必要がある。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	生徒指導の充実		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	2	豊かな人間性の育成		
重点目標	1	豊かな心の育成		
目 的	生徒指導の充実			

内 容	<p>1 問題行動への対応を充実する事業 きめ細やかな生徒指導の充実をめざし、組織的な生徒指導体制を確立する。</p> <p>2 不登校への対応を充実する事業 不登校の未然防止及び不登校児童生徒への組織的な指導体制の確立をめざす。</p> <p>3 教育相談活動を充実する事業 不登校及び不登校傾向の児童生徒へのきめ細やかな対応をめざし、多様な教育相談活動を展開するとともに、学校支援を行う。</p>				
	<p>1 問題行動への対応を充実する事業 生徒指導体制の一層の充実をめざし、生徒指導主事研修会を2回実施した。また、生徒指導支援講師を4校に配置した。</p> <p>2 不登校への対応を充実する事業 個別指導記録票を作成した。</p> <p>3 教育相談活動を充実する事業 適応指導教室への年間63名の来談者数があった。また、2名のスクールソーシャルワーカーの活用により、相談活動の充実を図ることができた。</p>				
と	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
成 果	問題行動の発生数				
	・いじめ	52件	26件	21件	15件
	・暴力行為	76件	81件	41件	30件
課 題	<p>1 問題行動への対応を充実する事業 計画的、継続的な会議を持ち、組織的な生徒指導体制を充実させることが必要である。</p> <p>2 不登校への対応を充実する事業 定期的な適応指導教室連絡協議会を開催し、関係機関との連携を図ることが必要である。</p> <p>3 教育相談活動を充実する事業 スクールソーシャルワーカーの活用を継続し、相談活動の充実を図ることが必要である。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		そ の 他	()

評価点検シート

施策・事業名	体力づくりの充実		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	2	豊かな人間性の育成		
重点目標	2	健やかな体の育成		
目的	体力づくりの充実			

内 容	1 体力の向上を図る事業 児童生徒の体力の実情把握、改善目標の設定を行い、体力の向上を図る。				
	1 体力の向上を図る事業 児童生徒の体力の実情を把握するため、全校で体力テストを実施した。 小学校では全国平均を下回る種目が、平成 20 年度から 2 種目増加した。 総合得点は昨年度より高くなっている。 各校で改善目標を設定し、独自の体力向上プランを作成した学校は、小学校 2 校、 中学校 2 校であった。				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
	全国体力テスト（小 5・中 2）結果の 全国平均を上回る 種目数（全 8 種目中）	小学校 8 種目 中学校 2 種目	小学校 6 種目 中学校 2 種目	小学校 6 種目 中学校 2 種目	小学校 8 種目 中学校 8 種目
課 題	1 体力の向上を図る事業 小学校では全国平均を下回る種目が、平成 20 年度から 2 種目増加した。 体力向上プランの作成及び見直しを図り、継続的な取組を推進することが必要である。 特に、中学校の体力向上プランを基本とした取組を充実することが必要である。				
各種計画掲載	総合計画		新市建設計画		さくらプラン 2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	食育・健康教育の充実		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	2	豊かな人間性の育成		
重点目標	2	健やかな体の育成		
目的	食育・健康教育の充実			

内 容	<p>1 食育・健康教育を充実する取組 学校における系統的な食育・健康教育を確立させ、児童生徒の健康づくりの推進を図る取組を実施する。</p> <p>2 食生活や健康への興味・関心の向上を図る健やかフェスタの実施 児童生徒の食生活や健康に対する興味・関心の向上を図るため、児童生徒・保護者及び地域が共同する事業を実施する。</p> <p>3 基本的な生活習慣づくりを推進する取組 基本的な生活習慣の確立を図るため、「早寝・早起き・朝ご飯」運動の取組を実施する。</p>				
	取 組 状 況	<p>1 食育・健康教育を充実する取組 食育研修会の実施を実施し、栄養3食・3色運動の周知を図った。毎月19日を「感謝・完食の日」として、食べ物を無駄にしない運動を実施した。</p> <p>2 食生活や健康への興味・関心の向上を図る健やかフェスタの実施 おのみち市民健康まつりと連携して、健やかフェスタを実施した。</p> <p>3 基本的な生活習慣づくりを推進する取組 給食指導、給食放送、試食会、たより等で「早寝・早起き・朝ご飯」運動の啓発を実施した。</p>			
と 成 果		指 標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績
	「基礎・基本」定着状況調査(小5・中2)の質問紙の「毎日朝食を食べる」児童・生徒の割合	小学校 97.8% 中学校 92.2%	小学校 96.1% 中学校 91.4%	小学校 96.9% 中学校 92.8%	➡
課 題	<p>1 食育・健康教育を充実する取組 尾道市食育推進計画の周知を継続して行い、食育の取組の具体化を図ることが必要である。</p> <p>2 食生活や健康への興味・関心の向上を図る健やかフェスタの実施 全市的な健康教育と関連させながら、さらに内容の充実を図ることが必要である。</p> <p>3 基本的な生活習慣づくりを推進する取組 「早寝・早起き・朝ご飯」運動の啓発方法や内容の改善をさらに進めていくことが必要である。</p>				
各種計画掲載	総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		そ の 他	()	

評価点検シート

施策・事業名	活力・魅力ある学校づくりの推進		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	1	特色ある学校づくりの推進		
目的	活力・魅力ある学校づくりの推進			

内 容	<p>1 特色ある教育研究を推進する事業 市の教育課題を実践的に研究する学校を指定し、本市教育の課題解決を図る。また、教育課題に係る研究をより効果的に進めるために複数校が共同で研究を進める。</p> <p>2 潤いのある学校づくりを推進する取組 地域に奉仕し、学校を愛する心を育てるとともに、豊かな情操と感性を育てるため、花いっぱい運動を推進する。</p>				
	取 組 状 況 と 成 果	<p>1 特色ある教育研究を推進する事業 本市における教育課題の解決及び教育の質の向上をめざし、パイロット校を19校指定した。広く研究内容の普及に努め、尾道市内全校に研究成果を発信した。 さらに、同一校種間による共同研究、また校種間をこえた幼保小中共同研究を推進したり、他校の研究成果を積極的に取り入れたりする学校が増加してきている。</p> <p>2 潤いのある学校づくりを推進する取組 花いっぱい運動や校内掲示の充実を継続して推進することで、児童生徒による環境整備を促進することができ、市の緑化コンテストで受賞した。</p>			
		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	共同研究実施校数	小学校 20校 中学校 12校	小学校 19校 中学校 9校	小学校 22校 中学校 12校	➡
課 題	<p>1 特色ある教育研究を推進する事業 指定校の研究成果を市内により還元していくために、指定校への研究会の参加を指定研修にすることが必要である。 さらに幼保（公私含める）とともに共同研究を推進していく必要がある。</p> <p>2 潤いのある学校づくりを推進する取組 今後も、市の緑化コンテスト参加への継続的な取組の推進していくことが必要である。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	尾道南高等学校の教育活動を充実する取組		所管課	学校経営企画課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	1	特色ある学校づくりの推進		
目的	活力・魅力ある学校づくりの推進			

内 容	1 尾道南高等学校の教育活動を充実する取組 田植えから稲刈り、脱穀・精米、調理といった、一連の米づくり体験等の活動や、公開研究会開催に対する支援を行い、多様な生徒のニーズに応える特色ある教育活動の充実を図る。				
	取 組 状 況	1 尾道南高等学校の教育活動を充実する取組 (1) 公開研究会前の校内研修会には、指導主事を派遣し、きめ細やかな指導助言を行った。 (2) 授業で生徒を育て鍛える教育実践に向け、授業研究会を定期的実施するなど授業改善に係るシステムづくりを進めた。教育研究発表会、オープンスクール、文化祭においては、参加者数も一定の確保ができ、着実な成果が表れている。 (3) 他校と合同で一連の米づくり体験の取組を実施するとともに、収穫物を文化祭や調理実習で活用を図ることにより、それぞれの活動を連鎖させた取組ができた。			
と 成 果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	学校実施アンケートの「学んだり体験したことを将来の生活に生かそうとしている」生徒の割合	-	-	76.6%	80.0%以上
課 題	1 尾道南高等学校の教育活動を充実する取組 (1) 生徒個々の状況をきめ細やかに把握し、実態に応じた特色ある教育活動を推進する。 (2) 「授業改善に係るシステム」「教科・科目の手引き」の効果的な活用を図る。 (3) 授業規律の確保・生徒指導上の課題解決に向けた組織的な取組を実施する。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	学校選択制度を充実する取組		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	1	特色ある学校づくりの推進		
目的	特色ある教育システムの充実			

内 容	1 学校選択制度を充実する取組 保護者、児童生徒の多様なニーズに応えるため、学校選択制度を充実する。				
	取 組 状 況	1 学校選択制度を充実する取組 学校紹介冊子の作成と配付、「広報おのみち」への掲載等とおし、保護者への周知を図った。 学校選択制度を利用し、入学希望申請のあった学校は、小学校 19 校、中学校 12 校であった。 学校選択の状況を把握するため、学校選択制度を利用し、入学した小学校 6 年生児童、中学校 3 年生生徒及びその保護者に対してアンケートを実施した。			
と 成 果		成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績
	尾道市学校選択制度に関する保護者アンケートの「学校選択制度は今後も継続すべきと思う」保護者の割合			小学校 80.0% 中学校 84.0%	➡
課 題	1 学校選択制度を充実する取組 実施上の課題をきめ細かく把握し、保護者や児童生徒の多様なニーズに応えていくことが必要である。				
	各種計画掲載	市総合計画 つくしプラン		新市建設計画 その他	さくらプラン2

評価点検シート

施策・事業名	学校共同事務の効率的な運用を図る取組		所管課	学校経営企画課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	1	特色ある学校づくりの推進		
目 的	特色ある教育システムの充実			

内 容	1 学校共同事務の効率的な運用を図る取組 平成 22 年度より市内全て共同事務室となり、教職員の事務的業務の負担軽減を図る。				
	1 学校共同事務の効率的な運用を図る取組 それぞれの共同事務室で「事務だより」を発行し、関係書類の作成マニュアルを掲載したり提出期限を早めに示したりした。 備品台帳を、紙台帳から電子データ化した。				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
	共同事務室の本格実施の割合	57%	67%	100%	100%
課 題	1 学校共同事務の効率的な運用を図る取組 尾道南高等学校の事務職員（市職員）を、市内の事務研究会に参加させたり、講師を招聘した共同事務室の研修会に参加させたりすることにより、尾道南高等学校の共同事務室への参加体制を整備する。 共同事務室の取組み状況等を教職員に周知徹底し、事務的業務の負担軽減を行う。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		そ の 他	()	

評価点検シート

施策・事業名	小中学校適正配置の推進		所管課	学校経営企画課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	1	特色ある学校づくりの推進		
目的	より良い教育条件・環境の実現			

内 容	1 小中学校適正配置を推進する取組 より良い教育条件・環境の実現を目指し、全市を対象とした小中学校の配置の見直しを行う。 当面、複式学級の解消に取り組むこととし、隣接校との統合を検討する。 統合に当たっては、通学方法の緩和策や跡地の有効利用等、また、幼稚園が併設されている場合にあっては、当該幼稚園も視野に入れて、個別に検討を進める。					
	取 組 状 況 と 成 果	1 小中学校適正配置を推進する取組 平成22年4月、因島南部地区において、土生・三庄・田熊中学校を統合し、因島南中学校を開校した。 また、生口島地区及び旧尾道市北部地区において、意見交換会を実施しながら小中学校適正配置に向けた地元協議を進めた。				
成果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
課 題	1 小中学校適正配置を推進する取組 生口島地区については、適正配置の方向性について、更に地域の意見調整を図る。 旧尾道市北部地区については、今後も取組を継続する。原田中学校については、美木中学校とのできるだけ早い統合に向けて、協議を進める。 今後は、長期の人口推計や施設の耐震化計画を基にした、全市的な適正配置計画を作成する。					
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2	
	つくしプラン		その他	()		

評価点検シート

施策・事業名	地域に開かれた学校づくり		所管課	学校経営企画課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	1	特色ある学校づくりの推進		
目的	地域に開かれた学校づくり			

内 容	<p>1 学校評議員等を活用促進する事業 「開かれた学校づくり」の推進に向け、学校評議員等の資質向上を促進するために、学校評議員の承認制を実施する。</p> <p>2 学校運営協議会を充実する取組 学校運営に地域住民及び保護者などが参画することにより、学校運営の基本的な方針の決定や教育活動の実践に地域のニーズを的確かつ機動的に反映させるとともに、地域に開かれた信頼される学校づくりに向けた体制の確立を図る。</p>				
	<p>1 学校評議員等を活用促進する事業 平成 14 年 4 月 1 日から施行されている尾道市学校評議員設置要綱により、学校評議員は、校長の推薦に基づき、教育委員会議の承認を受け、教育委員会が委嘱している。推薦者についての、高齢化、男女比等の課題が改善され、学校にとってよきパートナーとしての体制が整った。</p> <p>2 学校運営協議会を充実する取組 学校運営協議会のシステムを確立することができた。ミッション・ステートメントに基づいた評価に関わる部分を教育活動に反映させることができた。</p>				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
	評議員の平均年齢 評議員の女性の割合		61.3 歳 26.9%	60.4 歳 25.7%	59 歳 30%
課 題	<p>1 学校評議員等を活用促進する事業 学校評議員の推薦、研修等、学校評議員の資質向上に関わるニーズを把握し、適正な推薦や任務遂行が行われるような体制を整える。</p> <p>2 学校運営協議会を充実する取組 学校や委員のニーズを把握し、より効率的・効果的な協議会となるようなシステムの確立を図る。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名	是正指導の徹底		所管課	学校経営企画課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	2	学校経営改革の推進		
目的	是正指導の徹底			

内 容	1 是正指導を定着する取組 法令等に則り、一層適正に学校運営と教育指導が行われるよう、是正指導の徹底と内実化を図り、教育改革の基盤づくりを行う。				
	取 組 状 況 と 成 果	1 是正指導を定着する取組 (1) 学校運営組織の機能化・活性化 校長会議、校長会において学校管理運営指導を図るため、管理職研修会を実施した。 また、学校評価表や自己申告書に基づき、学校管理運営に係るヒアリングを実施した。 (2) 服務規律の徹底 定期的な服務規律研修会として、校長会議、校長会において服務規律確保に向けた指導を実施した。 また、時宜を得た服務規律確保の徹底を図るため臨時校長会議を開催した。			
果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
果	是正指導項目の実施の割合	100%	100%	100%	100%
課 題	1 是正指導を定着する取組 (1) 体罰・文書管理等、服務規律に係る事案の生起。 (2) 公開性・信頼性を高める学校評価のあり方を検討する。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名	学校の自主性・自律性の確立		所管課	学校経営企画課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	2	学校経営改革の推進		
目的	学校の自主性・自律性の確立			

内容	<p>1 学校評価システムを充実する取組 学校評価結果を保護者や地域と共有し、学校の改善につなげるようにするため、管理職研修会を実施する。</p> <p>2 適正な人事評価を充実する取組 教員一人一人の意識改革や意欲・資質・指導力の向上を図るとともに、適正な人事評価をするため、自己申告による目標管理を実施する。</p>				
	<p>1 学校評価システムを充実する取組 管理職研修会において、学校評価の意義や効果的な実施方法などの理解の促進を図るとともに、協議を取り入れ、意見交流や情報交換の場を設定し、学校評価の有効な活用と学校評価結果の公表が行われた。</p> <p>2 適正な人事評価を充実する取組 校長の自己申告提出を求め、ヒアリングを通して、教員が学校経営計画と学校評価、自己申告の連鎖を図れるように指導した。</p>				
状況と成果	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	管理職研修会の実施回数 自己申告の提出率	-	-	19回 100%	19回 100%
課題	<p>1 学校評価システムの充実 多様な研修形態を取り入れ、課題意識、参画意識、実践意欲の向上を図る。</p> <p>2 適正な人事評価の充実 人事評価に関する研修の充実を図り、教職員が各自の強みや持ち味を生かした目標設定ができるような指導助言を校長が行うことができるようにする。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	教職員の資質・指導力の向上		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	2	学校経営改革の推進		
目的	教職員の資質・指導力の向上			

内 容	<p>1 教員の資質・能力の向上を図る職能別研修の実施 教員の資質・能力を高めるため、経験年数やニーズ等に応じた研修を実施する。</p> <p>2 授業力の着実な向上を図る授業観察システムの導入 授業づくりや板書等、教員一人一人の授業力の着実な向上をめざして、授業観察システムの導入を図る。</p> <p>3 校内研修の充実を図る学校訪問指導の実施 校内研修等における指導の充実を図るため、指導主事等を派遣する。</p>				
	取 組 状 況	<p>1 教員の資質・能力の向上を図る職能別研修の実施 (1) 尾道市初任者研修を3回実施できた。 (2) 尾道市経験者(2年・3年目)研修を1回実施できた。 (3) 主任等研修を3回実施した。</p> <p>2 授業力の着実な向上を図る授業観察システムの導入 授業評価表を活用した授業研究を80%以上の小中学校で実施した。</p> <p>3 校内研修の充実を図る学校訪問指導の実施 各校の校内研修等へ計画的・継続的に指導主事等を派遣できた。(年間352回)</p>			
と 成 果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	指導主事による教科領域等の指導を目的とした学校訪問回数	352回	333回	352回	⇨
課 題	<p>1 教員の資質・能力の向上を図る職能別研修の実施 各種研修会の計画的実施と、全校における還元の徹底を行っていく必要がある。</p> <p>2 授業力の着実な向上を図る授業観察システムの導入 観察の視点の焦点化と各校における授業課題との整合性を図っていく必要がある。</p> <p>3 校内研修の充実を図る学校訪問指導の実施 1校への複数の指導主事訪問を行い、訪問記録の統一性をはかることで、共通した課題設定のもと計画的・系統的な訪問指導を行っていくことが必要である。 授業改善に係る指導に偏りがちであったが、教育研究体制や校内研修体制に係る指導の充実を図ることにより、講師を招聘しない校内研修の回数を増やしていくことが必要である。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	異校種間連携教育の推進		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	2	学校経営改革の推進		
目的	異校種間連携教育の推進			

内 容	1 異校種間連携による教育活動を推進する取組 幼小連携教育及び幼保小合同研究を推進する。				
	取 組 状 況 と 成 果	1 異校種間連携による教育の推進 (1) 県の指定による幼小連携教育の研究を1地域で実施し、市内に発信することができた。そのことにより、連携の重要性について意識が高まり、幼小連携教育を推進する学校が増加した。 (2) 幼小中合同研修会等を4地域で実施し、異校種間の指導方法や教育内容についての相互理解が進んだ。さらに、保育所も含めた合同研修を実施する学校も出てきた。 (3) 公立・私立の幼稚園や保育所を含めた幼保小合同研修会を実施することができた。			
		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	幼保小合同研修会の実施回数	1回	1回	1回	1回
課 題	1 異校種間連携による教育の推進 (1) 新学習指導要領や幼稚園教育要領により重視されている連携教育の効果的な教育内容充実のための研修会を継続して実施することが必要である。 (2) 公立・私立の幼稚園や保育所を含めた合同研究を継続して実施することが必要である。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	自主的研修の奨励		所管課	教育指導課
政策の柱	1	夢と志を抱く子どもの育成		
基本方針	3	信頼される学校づくり		
重点目標	2	学校経営改革の推進		
目的	自主的研修の奨励			

内 容	1 尾道教育研究会を支援する取組 教員の授業力・指導力の向上を図るため、指導助言を行う。				
	1 尾道教育研究会を支援する取組 尾道教育研究会主催の研修では、授業研究を中心とした研究が推進され、授業力・指導力の向上を図るための、指導助言を行った。 (小学校部会研修回数 139 回、中学校部会研修回数 100 回) 小中合同部会の開催による相互研究・小中連携を 6 部会実施した。				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
	各部会の開催回数	小学校 168 回 中学校 105 回	小学校 166 回 中学校 102 回	小学校 139 回 中学校 100 回	⇒
課 題	1 尾道教育研究会を支援する取組 小中合同部会を開催し、小中連携教育を推進していくことが必要である。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン 2
	つくしプラン		そ の 他	()	

評価点検シート

施策・事業名	家庭教育支援事業の推進		所管課	生涯学習課
政策の柱	2	学校・家庭・地域の協働による教育環境づくり		
基本方針	1	家庭・地域の教育力の向上と活用		
重点目標	1	家庭の教育力の向上		
目的	家庭の教育力の向上			

内 容	<p>1 家庭教育講座の実施 保護者が子どもに生活のために必要な習慣を身につけさせるなど、心身の調和のとれた発達を図れるよう、家庭の教育力の向上に向けて、講座の実施など多様な学習機会を提供する。</p> <p>2 家庭教育を支援する体制の充実 地域における推進体制を整えるため、子育て活動の支援者の養成や支援組織の育成を行う。</p>				
	取 組 状 況 と 成 果	<p>1 家庭教育講座の実施 家庭教育講座を、保育所、幼稚園、小学校、中学校の保護者会や参観日、子育てサロンなどの活動日を活用して実施した。アンケート結果から講座の内容に満足し家庭で役立てたいとの回答があり、家庭教育の重要性を認識してもらえた。</p> <p>2 家庭教育を支援する体制の充実 「子育てサポーターリーダー養成講座」全課程を修了したサポーターリーダーを対象に、ステップアップ研修会を実施して資質の向上を図るとともに、それぞれ地域での活動の紹介やサポーターリーダー同士で情報交換することで、地域の子育て活動を側面的に支援することができた。</p> <p>平成 20 年度に、地域での家庭教育の推進を図ることを目的に設立した向東地区家庭教育支援チームを継続的に支援した。当該支援チームでは、保育所・幼稚園・小中学校・子育てサロンや地域の団体と連携をとりながら家庭教育講座を 10 講座実施した。</p> <p style="text-align: center;">平成 21 年度から単市事業に移行</p>			
成果指標		20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
学習講座の参加者数		3,334 人	1,672 人	3,361 人	3,400 人
課 題	<p>1 今後も、講座内容の充実と実施方法を工夫し、より多くの保護者等に受講してもらうよう取り組んでいく必要がある。</p> <p>2 子育ての支援者を対象に継続して情報交換会や再研修を行い、資質の向上に努めるとともに、家庭教育支援チームについては、他地域の活動につながるよう引き続き支援する必要がある。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン 2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名	ボランティア活動の推進		所管課	生涯学習課
政策の柱	2	学校・家庭・地域の協働による教育環境づくり		
基本方針	1	家庭・地域の教育力の向上と活用		
重点目標	2	地域の教育力の向上と活用		
目的	地域の教育力の向上			

内容	<p>1 自主的な学習活動の支援 社会教育関係団体等の市民参加型の団体活動を支援するとともに、各種社会教育団体の育成・自立のため、相談・指導を行う。</p> <p>2 教育ボランティア等の発掘・養成 学校や地域における子どもたちの活動を支援するボランティアを発掘するとともに、意識醸成のための研修会を実施する。</p> <p>3 学校支援活動の促進 教育ボランティアの活動内容の拡充やボランティアリストの有効活用等により、地域による学校教育を支援する体制を確立し、学校教育支援活動を促進する。</p>					
	取組状況と成果	<p>1 自主的な学習活動の支援 社会教育関係団体への助成等の支援を行った。市PTA連合会等の社会教育関係団体と連携して教育フォーラム等の講演会を実施することにより、市民協働による家庭及び地域の教育力の向上等が図られている。</p> <p>2 教育ボランティア等の発掘・養成 教育ボランティアを募集して作成したリストの中から学校が、登録者に各種の活動を依頼した。教育ボランティアによる学校の環境整備、子ども達の通学の見守り等により、学校教育活動の充実はもちろん、地域全体として教育力の向上が図られている。</p> <p>3 学校支援地域本部事業の実施 学校支援ボランティアの活動として、学習支援活動、部活動支援、植木剪定等の環境整備、登下校安全指導等を実施した。当該事業の実施により、地域と学校とのつながりが深まるとともに、子どもたちが多様な経験の機会を得るなど、一定の定着と成果をあげた。</p>				
果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	教育ボランティア登録数	487人	659人	531人	700人	
課題	<p>1 引き続き社会教育関係団体への助成等により活動を支援する。</p> <p>2 ボランティアの登録者は高齢者層に偏っているため、より幅広い年齢層のボランティアに参加を呼びかけるとともに、活動内容、事業の効果を学校・地域・家庭に向けて一層PRしていく必要がある。</p> <p>3 学校支援地域本部事業は平成22年度で終了したが、この仕組みをより地域主体のものとして見直し、すでに実施地区においては継続実施を支援するとともに、市内他学区における事業実施を促進していく。</p>					
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2	
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	放課後子ども教室推進事業		所管課	生涯学習課
政策の柱	2	学校・家庭・地域の協働による教育環境づくり		
基本方針	1	家庭・地域の教育力の向上と活用		
重点目標	2	地域の教育力の向上と活用		
目的	地域の教育力の向上			

内 容	1 放課後子ども教室推進事業の実施 放課後等の子どもたちの安全・安心な居場所として放課後子ども教室を開設し、学校・家庭・地域の協働により心豊かでたくましい子どもの育成を図る。 (1) 地域が一体となって子どもたちを支える体制を整備する。 (2) 子どもたちに体験活動など豊かな活動内容を提供する。				
	取 組 状 況 と 成 果	1 放課後子ども教室推進事業の実施 市内9小学校で、学校、PTA、地域の関係者などで構成する実行委員会を組織し、放課後子ども教室を開設・運営した。各教室では、地域の実情に応じたプログラムを企画し、地域ボランティアの指導員により子どもたちへ放課後等に学習、創作、文化、スポーツ活動の体験活動や季節行事等を提供した。児童560人、指導員165人の登録があった。 (1) 地域のボランティア指導者が、地域の実情に応じて、子どもたちの放課後等の活動として家庭や学校活動にはない体験活動を提供することができた。 (2) 地域の人との交流事業の実施により、子どもの社会性や協調性の育成と規範意識の定着などの効果があった。 (3) 子どもを通して地域住民同士のつながりが深まり、地域が一体となって子どもたちを見守っていく意識の向上、環境づくりに役立っている。			
果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	放課後子ども教室 延べ参加児童数	32,076人	30,293人	33,574人	35,000人
課 題	1 指導員の確保及び資質の向上を図っていく必要がある。 2 国、県の動向を注視しながら、今後の事業展開を検討する必要がある。 3 放課後児童クラブとの併設箇所では連携や統一に向けて検討する必要がある。 4 毎日開催の教室については、クラブへの移行または開催日数の見直しを検討する必要がある。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	次代を担う青少年の健全育成		所管課	生涯学習課
政策の柱	2	学校・家庭・地域の協働による教育環境づくり		
基本方針	2	地域との協働による青少年の健全育成		
重点目標	1	次代を担う青少年の健全育成		
目的	次代を担う青少年の健全育成			

内容	<p>1 青少年の非行・被害等防止活動の推進 青少年の健全育成のため、補導活動や来訪・電話等による相談活動を推進する。</p> <p>2 青少年を取り巻く有害環境対策の推進 青少年の健全育成を阻害する恐れのある行為又は環境から青少年を守るため、環境の浄化を図る。</p> <p>3 電子メディア対策の推進 電子メディアに関わる問題から、青少年を守るとともに、正しく使いこなせる力を育てていくため、学校・保護者・地域・団体及び行政が協働・連携して対策を講じる。</p> <p>4 青少年の社会性や意欲を高める体験活動等の推進・促進 青少年の健全育成のため、市民意識や活動の高揚を図るとともに、各種団体の活動を支援する。</p>				
	取組状況と成果	<p>1 青少年の非行・被害等防止活動の推進 地区補導委員会（21 地区）と連携し、合計 1,087 回の補導活動を行うとともに、34 件の相談活動を行った。</p> <p>2 青少年を取り巻く有害環境対策の推進 市内 27 ヶ所に白ポストを設置し、有害図書類を回収するとともに、立入調査を実施し、有害図書類販売等の指導を行った。</p> <p>3 電子メディア対策の推進 平成 21 年度策定した尾道市次世代育成のための電子メディア対策実施計画に基づき、事業を推進した。</p> <p>4 青少年の社会性や意欲を高める体験活動等の推進・促進 青少年健全育成作文を募集するとともに、青少年健全育成大会を開催し、青少年健全育成成功者・健全育成作文等の表彰や市内小中学校によるアトラクションを行った。 また、子ども会・海洋少年団に対し、助成等の支援を行い、活発な活動を促進した。</p>			
果		成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績
課	<p>1 関係機関と連携し、事業実施することで、青少年の健全育成が図られているが、青少年を取り巻く環境は、家庭の教育力及び規範意識の低下や地域の連帯感の希薄化等、厳しくなっている。今後も関係機関と連携し、様々な取組を行っていく必要がある。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン 2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名	講座等の充実による勤労青少年の健全育成		所管課	生涯学習課
政策の柱	2	学校・家庭・地域の協働による教育環境づくり		
基本方針	2	地域との協働による青少年の健全育成		
重点目標	2	社会に貢献する勤労青少年の健全育成		
目的	社会に貢献する勤労青少年の健全育成			

内容	1 魅力ある教養講座・趣味講座の充実 勤労青少年の健全な育成と余暇活動の充実に向けた講座の提供を図る。				
	2 勤労青少年の社会参加に向けた交流活動の促進 勤労青少年の交流活動を充実する。				
取組	3 勤労青少年のニーズに応える相談事業等の充実 若者の悩み解消や将来設計などの相談事業を実施する。				
	1 魅力ある教養講座・趣味講座の充実 (1) 尾道勤労青少年ホーム 教養講座・趣味講座(主催講座)を22講座実施するとともに、7クラブ・サークル(自主講座)の活動を支援した。 (2) 因島勤労青少年ホーム 教養講座・趣味講座(主催講座)を13講座実施するとともに、8サークル(自主講座)の活動を支援した。				
状況	2 勤労青少年の社会参加に向けた交流活動の促進 (1) 尾道勤労青少年ホーム 利用者の交流行事を9回実施し、他の勤労青少年ホームとの交流会を5回実施した。 (2) 因島勤労青少年ホーム 利用者の交流行事(地域貢献活動を含む)を4回実施し、他の勤労青少年ホームとの交流会を3回実施した。				
	3 勤労青少年のニーズに応える相談事業等の充実 (1) 尾道勤労青少年ホーム キャリアアップ講座として秘書検定講座(2講座)、働く人のマナー・メイク講座を実施した。 (2) 因島勤労青少年ホーム 日常生活の悩み相談等に随時対応した。				
成果	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	主催講座 延べ参加者数	3,356人	3,620人	3,666人	3,800人
課題	1 引き続きニーズに応じた講座の見直しを行っていく必要がある。				
	2 交流活動の参加を積極的に働きかけ、地域貢献活動や協働による活動を増やしていく必要がある。				
各種計画掲載	3 キャリアアップ講座の開設に取り組んできたが、更に充実させていく必要がある。				
	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	安心・安全で質の高い学校施設整備事業		所管課	庶務課・因島瀬戸田地域教育課
政策の柱	2	学校・家庭・地域の協働による教育環境づくり		
基本方針	3	安全・安心で質の高い学校施設整備		
重点目標	1	安全・安心で質の高い学校施設整備		
目的	安全・安心な学校施設の整備			

内 容	<p>1 施設の改修 安全面・衛生面に重点を置き、老朽化した学校施設の大規模改修を実施する。</p> <p>2 施設の耐震化 耐震診断による構造耐震指針(Is 値)の値が0.3に満たない倒壊の危険性が高い小・中学校の校舎・屋内運動場を優先的に実施し、児童・生徒の安全性を確保するとともに、災害時における住民の避難場所を確保する。</p> <p>3 向島中央小学校及び向島中央幼稚園改築事業 老朽化した学校施設を改築することにより、安全で快適な教育環境を整備するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p>				
	取 組 状 況 と 成 果	<p>1 施設の改修 向東小学校避難器具改修工事(2,378千円) 栗原小学校消火設備改修工事(6,510千円) 木頃小学校グラウンドフェンス等改修工事(4,375千円) 重井中学校屋内運動場屋根改修工事(2,363千円) 瀬戸田中学校外周フェンス改修工事(5,345千円) 日比崎中学校浄化槽等改修及び受変電設備設置工事(31,878千円) 長江中学校自動火災報知設備改修工事(1,880千円)など 施設改修により、安全面・衛生面の改善が図られた。</p> <p>2 施設の耐震化 耐震診断・実施設計業務については、平成21年度から繰越しとなっていた校舎4棟(3校)と8棟の屋内運動場は完了したが、平成22年度に同業務を委託した校舎4棟(2校)と屋内運動場5棟のうち校舎1棟と屋内運動場3棟が繰越しとなった。 また、平成21年度から繰越しとなっていた耐震改修工事6棟は完了した。内訳は、久保小学校屋内運動場(70,875千円)、重井小学校屋内運動場(13,965千円)、浦崎中学校屋内運動場(18,480千円)、長江中学校屋内運動場(10,710千円)、向東中学校屋内運動場(36,225千円)、因北中学校屋内運動場(18,900千円) なお、耐震診断の結果、Is値の高かった屋内運動場1棟の同工事は先送りとしたが、校舎3棟と屋内運動場4棟は、耐震診断・実施設計業務の遅れにより繰越しとなった。</p> <p>3 向島中央小学校及び向島中央幼稚園改築事業 向島中央小学校進入路建設工事(13,000千円) 地権者から、進入路予定地の用地を取得し工事に着手した。</p>			
成果指標		20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
耐震化率		38.8%	40.1%	46.9%	61.5%
課 題		<p>1 各施設の状況を把握し、計画的・効率的に改修を実施する必要がある。</p> <p>2 評価審査委員会の審査時間を考慮して設計業務を発注するとともに、耐震改修工事の計画的な実施を図る必要がある。</p>			
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名		認定こども園の設置	所管課	庶務課
政策の柱	2	学校・家庭・地域の協働による教育環境づくり		
基本方針	3	安全・安心で質の高い学校施設整備		
重点目標	1	安全・安心で質の高い学校施設整備		
目的		幼保一体化へ向けた施設整備		

内 容	<p>1 認定こども園の設置 保護者の多様なニーズに対応するため、幼稚園と保育所機能を合わせもつ認定こども園の設置を進める。</p>				
取 組 状 況 と 成 果	<p>1 認定こども園の設置 平成 18 年「就学前保育等推進法」施行により、多様なニーズへの対応や幼稚園と保育所の運営一体化（幼保一体化）への取組の推進が図られている。 本市においても、平成 19 年 4 月に市長部局により保育所型である「浦崎認定こども園」が開園した。 また、平成 21 年 4 月に教育委員会と市長部局が連携した幼保連携型である「三庄認定こども園」を開園した。 これにより、教育・保育の総合施設として保護者や地域の多様なニーズに応えるとともに、幼稚園と保育所の運営一体化への取組の推進を図っている。 さらに、(仮称)「向島認定こども園」設置について、平成 22 年 8 月に地元説明会を開催し、平成 25 年度開園に向けて取り組んでいる。</p>				
果	成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
	認定こども園数 (市長部局による保育所型を含む)	2 園	2 園	2 園	
課 題	<p>1 本市では、保護者の多様なニーズへの対応等、認定こども園の運営のあり方を検証すべく、2 形態（保育所型及び幼保連携型）の運営を行ってきた。今後は、これまでの運営を踏まえ、運営形態の統一を図る。 2 幼保一体化の更なる推進に向け、市長部局との具体的検討を積極的に進める必要がある。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン 2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名	ドライシステムによる給食施設の整備		所管課	庶務課
政策の柱	2	学校・家庭・地域の協働による教育環境づくり		
基本方針	3	安全・安心で質の高い学校施設整備		
重点目標	2	安全・安心で質の高い学校給食施設整備		
目的	安全・安心な学校給食の提供			

内 容	1 学校給食施設の整備 本市の学校給食は、12 箇所の単独調理場及び 6 箇所の共同調理場において、約 9,300 食を調理している。				
	1 向東小学校及び同中学校に単独給食調理場を建設した。 ドライシステムによる調理場の整備、米飯炊飯システムを備えた自校炊飯方式、食物アレルギーに対応した調理設備を整備した。 向東小学校給食調理場建設工事（事業費 206,454 千円） 向東中学校給食調理場建設工事（事業費 175,436 千円） 2 高須小学校給食調理場建設事業において、12,400 千円（道路の拡幅工事、測量設計、用地買収）の予算要求を行った。				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
	ドライシステム化率 （給食数に基づく割合）	8.2%	8.2%	17.6%	26.7%
課 題	1 老朽化した給食調理場の施設更新が課題である。 （1）因島学校給食共同調理場の施設更新は、新市建設計画掲載事業である。 （平成 27 年度が期限である。） （2）栗原北学校給食共同調理場をはじめ、その他の給食調理場の施設又は設備の更新が必要である。更新にあたっては、文部科学省の学校給食衛生管理基準に適合する施設への改修が必要である。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン 2
	つくしプラン		その他	（ ）	

評価点検シート

施策・事業名	市民への学習機会の提供		所管課	生涯学習課
政策の柱	3	集い・学び・生かす生涯学習の推進		
基本方針	1	多彩で活力あふれる生涯学習の充実		
重点目標	1	多彩な学習機会の提供		
目的	市民への多彩な学習機会の提供			

内容	<p>1 教養と生きがいづくりのための学習機会の提供 生きがいのある心豊かな市民生活を実現するため、ライフステージに応じた様々な学習講座を開催する。</p> <p>2 まちづくりに資する人材育成 地域活動・ボランティア活動を促進するため、まちづくりに資する人材育成に向けて社会的課題や地域課題の解決をテーマとした各種講座や講演会等を実施する。</p> <p>3 様々な生涯学習情報の収集及び提供 市民の自主的な学習を支援するため、最新の学習情報を収集しながら、広報、公民館だより、ホームページ等により広く情報提供を行う。</p>				
	取組状況と成果	<p>1 教養と生きがいづくりのための学習機会の提供 生きがいや人づくりをテーマとしたおのみち市民大学講座をはじめ、公民館や勤労青少年ホームにおいて主催講座等を実施した。</p> <p>2 まちづくりに資する人材育成 まちづくりをテーマとしたおのみち市民大学をはじめ、生き生きセミナー、成人式を実施した。また、食育や青少年健全育成、まちおこしといった社会的課題や地域課題の解決をテーマにした講座・講演会を実施し、生涯学習講座の充実を図った。</p> <p>3 様々な生涯学習情報の収集及び提供 関係課等の学習情報を収集し、広報・マスコミ等の活用やホームページ、ポスター・チラシにより市民、関係団体への情報提供を図った。</p>			
成果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	まちづくりをテーマとした講座受講者数	1,538人	1,191人	1,525人	1,800人
課題	<p>1 教養や生きがい等の個人の要望に応えるため、引き続き多彩な学習機会を提供していく必要がある。</p> <p>2 今後とも、関係機関等と協議調整しながら社会的課題や行政的課題に対応した講座、講演会を実施していくとともに、市民自らがまちづくりに参画できるような環境づくりや学習機会を提供する必要がある。</p> <p>3 さらに関係機関等と連携を深め、生涯学習情報の収集及び提供を行う必要がある。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名	公民館の充実		所管課	生涯学習課
政策の柱	3	集い・学び・生かす生涯学習の推進		
基本方針	1	多彩で活力あふれる生涯学習の充実		
重点目標	2	市民が集う生涯学習拠点の確立		
目的	公民館の充実			

内 容	<p>1 多彩な学習プログラムの充実 市民のニーズや地域社会のニーズ、市の政策を反映する講座の充実に努め、地域課題解決や地域特性をテーマとした講座を開催する。</p> <p>2 幅広い利用拡大に向けての取組 各公民館が特色ある事業展開を行い、成人男性や若者、子育て中の母親等の利用拡大を図る。</p> <p>3 職員研修の充実 公民館職員の資質を高める研修会を実施する。</p> <p>4 公民館のあるべき姿の確立 生涯学習の拠点及びまちづくりの拠点としての公民館の将来像を研究課題として調査・研究を進めながら、公民館運営及び機能の充実に努める。</p>				
	取 組 状 況 と 成 果	<p>1 多彩な学習プログラムの充実 中央公民館においてキッズキッチン教室や子ども囲碁大会等市の政策を反映する講座(大会)を、また、地区館において地域課題解決や地域特性をテーマとした講座(学習プログラム開発提供モデル事業やオンリーワン事業)を関係課・関係団体と連携協働する中で実施した。</p> <p>2 幅広い利用拡大に向けての取組 「地域とともに、地域をつくる公民館」をめざし、公民館利用者協議会を7月に向東公民館、3月に東部公民館に設立し、地区館の支援体制に努めた。また、旧尾道地区及び向島地区でも定期的に公民館だよりを発行する館が増え、学習情報や地域活動等の情報提供に努めた。</p> <p>3 職員研修の充実 職員キャリアアップ研修(パソコンスキルアップ研修) おのみち公民館いきいき講座(人づくり・まちづくり講座)の実施や関係団体等の研修会への参加等により職員研修を実施した。</p> <p>4 公民館のあるべき姿の確立 社会教育施設としての公民館の基本的業務内容を明示し、その実施に努めた。旧尾道地区の9公民館長を常駐化し、報酬の引き上げを実施した。</p>			
果	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	公民館延べ利用者数	436,283人	469,626人	478,676人	493,000人
課 題	<p>1 主催講座の改善を引き続き行い、市民のニーズや地域社会のニーズ、市の政策を反映する講座の充実に努める。</p> <p>2 幅広い利用拡大に向けて各公民館が特色ある事業実施に努める。</p> <p>3 公民館が人づくり、まちづくりの拠点として、その役割をさらに発揮するために、継続して職員の資質を高める研修の充実に努める。</p> <p>4 公民館の将来像を研究課題として調査・研究を進めつつ、さらなる公民館運営及び機能の充実に努める。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名	生涯スポーツの推進		所管課	スポーツ振興課 因島瀬戸田地域教育課
政策の柱	3	集い・学び・生かす生涯学習の推進		
基本方針	2	スポーツを楽しみ体力と健康を増進する環境づくり		
重点目標	1	豊かなスポーツライフの実現		
目的	豊かなスポーツライフの実現			

内 容	1 生涯スポーツの推進 (1) 体育指導委員によるニュースポーツ等の普及活動の充実 (2) 市体育協会主催のスポーツ大会の支援・各地区体育協会の活動支援 (3) 総合型地域スポーツクラブへの活動支援				
	取 組 状 況 と 成 果	1 体育指導委員によるニュースポーツ等の普及活動の充実 体育指導委員による、放課後子ども教室・PTCの各種団体への派遣指導 37 回(大会運営補助含む) 主催大会の開催による普及活動で、ニュースポーツに対する関心とスポーツへの参加意欲を高めた。 2 市体育協会主催のスポーツ大会の支援・各地区体育協会の活動支援 尾道市体育協会への補助 (7,700 千円) 総会等の各種会議資料作成、会議の開催。大会(スポーツフェスティバル各種 14 競技)の資料作成及び運営を行った。 3 総合型地域スポーツクラブへの活動支援 NPO 法人総合型地域スポーツクラブ(2 団体)への補助(1,050 千円)			
果		成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績
	スポーツ施設 利用者数	1,220,923 人	1,218,942 人	1,219,031 人	➡
課 題	1 尾道市体育協会については、法人化・各大会を競技主管団体による自主運営で行う等自立化に向けた協議を行っていく必要がある。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名	競技スポーツの向上		所管課	スポーツ振興課
政策の柱	3	集い・学び・生かす生涯学習の推進		
基本方針	2	スポーツを楽しむ体力と健康を増進する環境づくり		
重点目標	1	豊かなスポーツライフの実現		
目的	豊かなスポーツライフの実現			

内 容	1 競技スポーツの向上 (1) スポーツ活動の助成 (2) トップアスリート等の招聘 (3) 市体育協会競技団体及びスポーツ少年団の活動支援				
	取 組 状 況 と 成 果	1 スポーツ活動の助成 市民のスポーツ意識の高揚と競技力の向上を図るため、県を代表して全国大会及び国を代表して国際大会に出場する地元の選手等を支援する助成として、選手及び監督・コーチの個人、団体 189 名にスポーツ活動助成金を交付した。			
2 トップアスリート等の招聘 尾道市体育祭(びんご運動公園)において、競技力アップ講座バレーボール編として F I V B 国際バレーボール連盟国際公認コーチを講師として招聘し、新しい練習法・新しい指導法を学び、参加した選手(小・中学生)、指導者ともに競技力向上への意識の高揚が図られた。					
3 市体育協会競技団体及びスポーツ少年団の活動支援 21 の地区体育協会、29 の競技団体、56 のスポーツ少年団に対し、大会運営(広報活動・賞品提供)・活動助成等の支援を行った。					
	成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
	全国大会出場者数	196 人	179 人	175 人	➡
課 題	1 競技レベル向上と、意識の高揚を図るために、トップレベルに触れる機会・種目の増加を含め、各種スポーツの底辺拡大から競技人口の増加を促進し、競技力向上へつなげていく必要がある。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()

評価点検シート

施策・事業名	スポーツを通じた交流の促進		所管課	スポーツ振興課
政策の柱	3	集い・学び・生かす生涯学習の推進		
基本方針	2	スポーツを楽しみ体力と健康を増進する環境づくり		
重点目標	1	豊かなスポーツライフの実現		
目的	豊かなスポーツライフの実現			

内容	1 スポーツを通じた交流の促進 (1) 他市町との交流(少年スポーツ親善大会等) (2) 異世代間の交流(ニュースポーツ等の普及) (3) プロ野球オープン戦招致開催				
	取組状況と成果	1 他市町との交流(少年スポーツ親善大会等) 尾道市・今治市スポーツ交歓大会(1年ごとに交互に開催)を尾道市で開催し、3競技(サッカー・ミニバスケットボール・軟式野球)を行い、186名の小・中学生が交流した。尾道市・東出雲町スポーツ交歓大会(1年ごとに交互に開催)を東出雲町で開催し、1競技(サッカー)を行い、1泊のホームステイを含め、69名の小学生が交流し親善を深めた。			
2 異世代間の交流(ニュースポーツ等の普及) (1) 尾道市体育祭(びんご運動公園)を、284名の参加を得て開催した。 大人から子どもまで、全市民対象参加型として開催し、運動が苦手な方でも取り組めるメニューの体験や、自分の体力・運動能力の現状を把握する体力テスト、新たに地区対抗種目も取り入れ、スポーツへの関心・競技力向上・コンディショニング作り等への意識の高揚が図られた。					
(2) カローリングセットの購入(607千円)					
(3) カローリング・ペタンク等のニュースポーツの教室、大会(体育指導委員協議会主催)を開催することで幅広い年齢層での交流が行われた。					
成果	3 観るスポーツとして、プロ野球オープン戦を招致開催。遠方からの来場を含め約5,800人の来場者があった。地元少年野球の選手による始球式、地元飲食組合による出店等による交流が行われた。				
	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	スポーツ大会講習会等参加者数	5,082人	4,931人	5,853人	➡
課題	1 東出雲町との交流事業は、東出雲町と松江市の合併(8月)により今年度尾道市開催をもって一旦終了予定。以降は都市交流担当部所との連携を図りながらの協議が必要である。				
	2 チラシ・ポスターの作成等の情報提供により参加者・集客増を図ったが、周知・PR(マスコミ活用等)方法の再考でさらなる増に務める必要がある。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	スポーツ施設の整備		所管課	スポーツ振興課 因島瀬戸田地域教育課
政策の柱	3	集い・学び・生かす生涯学習の推進		
基本方針	2	スポーツを楽しむ体力と健康を増進する環境づくり		
重点目標	2	スポーツ施設の充実と活用		
目的	スポーツ施設の充実と活用			

内容	1 スポーツ施設の整備 いつでも、どこでも、誰でもスポーツ・レクリエーション活動ができるようスポーツ施設の整備を推進する。					
	取組状況と成果	1 スポーツ施設の整備 (1) 東尾道市民スポーツ広場整備(北側フェンス・入口ゲート・門扉)(6,647千円) (2) 日比崎中学校運動場夜間照明修繕(1,444千円) (3) 瀬戸田町B & G海洋センター体育館玄関改修(977千円) (4) その他、既存の社会体育施設等の修繕(10,802千円) 施設の整備・修繕により、利便性の向上等の改善が図られた。				
果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
課題	<p>1 管理範囲が広大なため、要修繕箇所等の不備が発生した場合、対応に時間がかかるケースがあるが、施設の管理団体等との連携をさらに密にし、より迅速な対応で利便性に影響を及ぼさないよう務めていく必要がある。</p> <p>2 施設によっては老朽化のため、毎年多くの修繕費がかかる現状があり、計画的に修繕を行う必要がある。</p> <p>3 使用方法・受益者負担を含め、地域・施設間で異なる使用料、使用料減免規定の見直し等の協議を行う必要がある。</p>					
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2	
	つくしプラン		その他	()		

評価点検シート

施策・事業名	芸術・文化行事の開催と活動支援		所管課	文化振興課
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
重点目標	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
目的	芸術・文化にふれ親しむ機会の充実			

内容	1 芸術・文化行事の開催 2 芸術・文化活動の支援				
	取組状況と成果	1 芸術・文化行事の開催 市民音楽芸能祭、新人演奏会、けんみん文化祭、県美展巡回展、勤労者美術展を開催し、芸術文化の発表・鑑賞・交流の機会の充実を図った。 2 芸術・文化活動の支援 尾道市文化協会事業（総合文化祭、秋の茶会、尾道ものがたり賞文学作品募集事業、「尾道文化」発刊事業等）の支援を行い、芸術文化の振興を図った。			
成果指標		20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
市民音楽芸能祭参加者数		464人	678人	505人	
課題	1 芸術・文化行事の開催 芸術・文化行事への参加者数増加への取り組みが必要である。 2 芸術・文化活動の支援 引き続き各文化団体との連携や支援を行い、芸術文化の振興を図る必要がある。				
	各種計画掲載	市総合計画 つくしプラン		新市建設計画 その他	さくらプラン2 ()

評価点検シート

施策・事業名	囲碁のまちづくり活動の支援		所管課	文化振興課
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
重点目標	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
目的	芸術・文化にふれ親しむ機会の充実			

内 容	1 市技囲碁の普及・発展を図るための活動支援				
	1 市技囲碁の普及・発展を図るための活動支援 (1) 囲碁大会や各種囲碁教室等の開催支援 ア 本因坊秀策囲碁まつり プロアマ戦、クラス別競技大会及び指導碁等を実施し、465人の参加があった。 イ 女流アマ囲碁都市対抗戦尾道大会 本市では初めての開催となる大会で、全国33都道府県の138チーム687人の参加があった。 ウ 市民囲碁大会 初心者から有段者まで広く市民を対象とした囲碁大会を開催し、182人の参加があった。 エ 初心者・子ども囲碁教室・女性囲碁教室 小中学校、高等学校、公民館及び尾道迎賓館等で囲碁教室を実施した。23会場で767回、延べ6,103名の参加があった。 オ 碁ランティア 観光客など来訪者からの要望に応じて棋士を宿泊先などに派遣し、交流対局する事業を実施した。 カ 虎ちゃん囲碁まつり 市内で囲碁教室に参加している児童・生徒を対象に、棋力認定の大会を実施し、50人の参加があった。				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	虎ちゃん囲碁まつり参加者数	55人	43人	50人	
課 題	1 市技囲碁の普及・発展を図るための活動支援 囲碁人口の増加のためには、囲碁になじみのない人や子どもたちに関心を持ってもらうことが必要であり、そのための指導者の育成が課題である。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	読書活動・調査研究活動への支援		所管課	図書館
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
重点目標	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
目的	読書活動への支援			

内 容	1 図書館及び子ども図書館の充実 (1) 必要な資料の情報提供をする。 (2) 子どもの読書活動を支援する。					
	取 組 状 況 と 成 果	1 図書館及び子ども図書館の充実 (1) 必要な資料の情報提供 ア 図書館だより、さんにちひろば、尾道ケーブルテレビ等を通じて、新着図書 の紹介を行った。 イ レファレンスサービスの充実に努めた。 (2) 子どもの読書活動の支援 ア おはなし会を各図書館で行った。 イ 読書感想文の募集を行い、入選者の表彰と優秀作品の読書感想文集を作成し た。 ウ 図書館から遠い地域の小学校・幼稚園・保育所等に毎月1回、移動図書館車 で巡回をした。 エ ブックスタート事業に参加し、読書の必要性や図書館の紹介を行った。 オ 尾道の民話紙芝居の作成と普及に努めた。 (3) 入館者数及び貸出点数 前年度に比べ、入館者は41,267人増加、貸出点数は46,810点増加した。				
成果指標		20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標	
入館者数	423,453人	474,422人	515,689人	523,000人		
貸出点数	685,172点	821,489点	868,299点	863,000点		
課 題	1 必要な資料の情報提供 レファレンス業務は、専門知識と経験が重要であり、専門の職員の配置が望まれる。 2 子ども読書活動の支援 移動図書館車の巡回で、学校行事等で日程変更の要望が出た場合、巡回日程に余裕 が少ないため難しい場合がある。					
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2	
	つくしプラン		その他	()		

評価点検シート

施策・事業名	絵のまち尾道四季展事業・高校生絵のまち尾道四季展事業の実施		所管課	美術館
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
重点目標	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
目的	芸術活動の推進			

内 容	1 芸術活動の推進 (1) 全国絵画公募展を開催し、芸術文化活動を通じた市民交流の促進を図る。 ア 絵のまち尾道四季展を実施する。 イ 高校生絵のまち尾道四季展を実施する。				
	1 芸術活動の推進 (1) 全国絵画公募展を開催することにより、市民が日常的に芸術文化に触れ、心豊かな感性を育む環境づくりを推進できた。 ア 第14回絵のまち尾道四季展を開催し、1,051点の出品があった。また、過去のグランプリ作品を展示公開し、市民らの鑑賞機会の充実に努めた。 イ 第6回高校生絵のまち尾道四季展の作品募集広報を行った。また、過去の尾道賞作品を、市役所ロビー等に展示公開し、広く市民らに鑑賞機会の提供に努めた。				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	絵のまち尾道四季展の出品数	1,040点		1,051点	
	高校生絵のまち尾道四季展出品数		451点		500点
課 題	<p>1 絵のまちおのみち四季展は、地域の特性を活かした固有の事業として定着しており、今後の継続開催を熱望する声も多い。また、地方開催にも関わらず、出品数も1,000点を越える状態を維持している。今後もこの状態を維持するため、効果的なPR等に努める必要がある。</p> <p>2 高校生絵のまち尾道四季展も第6回を数え、高校生を対象とした全国絵画公募展として定着しているものの、出品校の地域が固まっている傾向がある。今後更に、広報に努める必要がある。また、買い上げとなる尾道賞作品を有効活用した展覧会の実施も、今後検討する必要がある。</p>				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	(主要事業)	

評価点検シート

施策・事業名	尾道市美術展事業の実施		所管課	美術館
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
重点目標	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
目的	芸術活動の推進			

内 容	1 芸術活動の推進 (1) 市民の創作意欲を喚起し、その奨励に取り組むことにより、芸術文化意識の高揚を図る。 ア 尾道市美術展事業を実施する。					
	取 組 状 況 と 成 果	1 芸術活動の推進 (1) 芸術文化を愛好する市民らの創作意欲を奨励喚起し、広く芸術文化活動への参加意欲を高める機会の充実を図った。 ア 第54回尾道市美術展を開催し、330点の出品があった。				
果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
課 題	1 出品数は300点超で推移しているものの、少子高齢化に起因する出品者の高齢(固定)化は否めない。今後は、一般出品者の更なる裾野を広げていくための取り組みが求められている。					
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2	
	つくしプラン		その他	()		

評価点検シート

施策・事業名	アウトリーチ活動の推進		所管課	文化施設課
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
重点目標	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
目的	アウトリーチ活動の推進			

内 容	1 音楽のまちづくり事業による連携の充実				
	1 音楽のまちづくり事業による連携の充実 (財)地域創造の助成を受け「音楽のまちづくり」事業として、市内の保育所・小中学校へのアウトリーチを9箇所、地域でのミニコンサートを5箇所、図書館等で絵本を使ったレクチャーコンサートを5箇所、ワークショップ等を6箇所を実施し生の芸術に触れる機会を提供できた。				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	出前コンサート実施 箇所数 参加者数		20箇所 2,100人	25箇所 2,200人	30箇所 2,400人
課 題	1 音楽のまちづくり事業による連携の充実 市内の保育所・小中学校へのアウトリーチ事業の拡大を進める必要がある。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	出前読書活動		所管課	図書館
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
重点目標	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
目 的	アウトリーチ活動の推進			

内 容	1 出前読書活動の推進 (1) 保育所、幼稚園、学校等で、紙芝居やおはなし会等を行う。 (2) 市のイベントの開催時に、商店街で尾道の民話紙芝居を上演した。				
	取 組 状 況 と 成 果	1 出前読書活動の推進 (1) 保育所、幼稚園に職員が出向いての紙芝居やおはなし会、また、小学校や中学校でブックトークを行い、読書機会の提供に努めた。 (2) 尾道ベッチャー祭りの日に本通り商店街で、尾道の民話紙芝居2作品を上演し、おおよそ100人の参加があった。			
成果指標		20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
出前読書活動回数			114回	120回	
課 題	1 中央図書館では移動図書館の巡回時におはなし会を行っているが、スケジュールの都合で、要望に十分応えられていない。 2 保育所でのおはなし会は、対象年齢が広く、読み聞かせする作品の選定が難しい。				
	各種計画掲載	市総合計画 つくしプラン	新市建設計画 そ の 他	さくらプラン2 ()	

評価点検シート

施策・事業名	文化財の継承と活用		所管課	文化振興課
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
重点目標	2	誇りある芸術・文化の継承と活用		
目的	文化財の継承と活用			

内 容	1 文化財の保存・保全 2 文化財の愛護精神の育成				
取 組 状 況 と 成 果	1 文化財の保存・保全の実施 国宝や重要文化財の保存・保全の支援や登録文化財制度の活用による文化財の継承、意識啓発を図る。 (1) 国宝・重要文化財の修理事業の推進 重要文化財建造物の保存修理を行うことにより、貴重な文化財を後世に伝えることができた。 (2) 登録有形文化財建造物の調査・研究・資料収集及び登録の推進 尾道市所有の建造物を調査研究し、登録文化財の登録申請を実施した。 (3) 尾道市歴史文化基本構想等の策定 市民と協働して未指定文化財を調査し、総合的に文化財を把握することにより尾道市歴史文化基本構想及び尾道市文化財保存活用計画を策定した。				
	成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
	登録文化財数	27	27	28	31
	2 文化財の愛護精神の育成 文化財愛護少年団の活動や講座、研修会を通して文化財愛護精神の啓発に努める。 (1) 尾道市文化財愛護少年団を結成し、学習活動を通じて、文化財及び郷土の伝統文化への愛護精神が育まれるよう継続的に活動を実施した。 小学生を対象にした体験学習、洋上セミナー等の開催を通して教育活動を実施することにより、文化財を愛護する精神の高揚につながった。				
成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標	
文化財愛護少年団員数	110	99	129	⇒	
課 題	1 文化財の保全・保存 国宝・重要文化財(建造物)所有寺院の防災設備は、老朽化による経年劣化が進み、今後、総合防災の視点から整備が必要である。 尾道市歴史文化基本構想等を核に、歴史的風致維持向上計画の策定を目指す。 2 文化財の愛護精神の育成 愛護精神と郷土愛をもつ児童を育成するため、興味ある学習会の開催により参加者を募集し団員数を維持する必要がある。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		そ の 他	()	

評価点検シート

施策・事業名	美術品等の収集及び調査研究の実施		所管課	美術館
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	1	心豊かな感性を育む芸術・文化活動の推進		
重点目標	2	誇りある芸術・文化の継承と活用		
目的	美術芸術の継承と活用			

内 容	1 美術品等の収集及び調査研究の実施 (1) 地域ゆかりの美術品等の収集・調査研究・活用に取り組み、芸術文化のまち尾道の顕彰に努める。				
	1 芸術活動の推進 (1) 美術品等収集評価専門委員会の意見聴取のもと、美術品の収集を行い、芸術文化のまち尾道の顕彰に努めた。				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	収蔵作品点数	996点	1,049点	1,497点	1,530点
課 題	1 尾道市立美術館美術品等収集基本方針に準じた美術品の収集に努めるとともに、地域ゆかりの文化的資源を未来へと継承していくための、基礎的情報の収集及び研究に努める必要がある。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	魅力ある文化施設の充実		所管課	文化振興課・因島 瀬戸田地域教育課
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	2	個性を生かした芸術・文化施設の充実と連携		
重点目標	1	魅力ある芸術・文化施設づくり		
目的	魅力ある文化施設の充実			

内容	1 市民や来訪者が、尾道の文化に触れることができる魅力ある施設の充実に努める。					
	<p>1 おのみち文学の館、おのみち映画資料館、おのみち歴史博物館の活用による資料の収集、研究、保存、展示の実施</p> <p>(1) おのみち文学の館特別展の実施 おのみち文学の館では、本市ゆかりの文学者の命日にあわせて特別展を実施し、文学者の顕彰を行い、文学のまち尾道のPRを図った。</p> <p>(2) おのみち映画資料館特別展の実施 常設展示に加え、「尾道口ケの魅力～松竹編」を実施するなど、本市の映画文化のPRに努めた。</p> <p>(3) おのみち歴史博物館 所蔵品展(年4回)の開催に加え、特別展「知られざる尾道仏教美術 御調編」 「尾道人物伝 高橋玄洋の世界」を実施し、本市の歴史文化のPRに努めた。</p> <p>2 おのみち街かど文化館や尾道迎賓館の活用による市民の芸術文化活動の促進 おのみち街かど文化館では、各種作品展示の場として、また、尾道迎賓館においては、文化活動の場として利用促進を図った。</p> <p>3 本因坊秀策囲碁記念館による囲碁文化の継承と振興</p> <p>(1) 本因坊秀策囲碁記念館子ども囲碁大会 本因坊秀策囲碁記念館を会場に、市内外の子ども(小・中学生、高校生)を対象とした囲碁大会を開催し、58名の参加があった。</p> <p>(2) 初心者の方の囲碁教室の実施(第1・3土曜日)</p>					
取組状況と成果	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標	
	文化施設総入館者数 (おのみち文学の館、おのみち映画資料館、おのみち歴史博物館、爽籟軒庭園)	55,612人	62,451人	58,948人	61,000人	
課題	1 市民や来訪者が、尾道の文化に触れることができる魅力ある施設の充実に努める。 総入館者数が減少傾向にあることから、各施設での特別展の充実や、施設間で連携したPRを行うことにより相乗効果を引き出す必要がある。					
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2	
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	市民に親しまれるホールの充実		所管課	文化施設課
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	2	個性を生かした芸術・文化施設の充実と連携		
重点目標	1	魅力ある芸術・文化施設づくり		
目的	芸術・文化にふれることのできるホールづくり			

内 容	1 市民に親しまれるホールの充実 2 市民の学習発表の場の提供				
	1 市民に親しまれるホールの充実 (1) 地域創造の助成を受け「音楽のまちづくり」事業として「仲道郁代ピアノコンサート」「吉野直子&ラデク・バボラーク」、アウトリーチ演奏者による「ガラ・コンサート」を開催し、単市事業として「せとだパリ祭 2010」を実施し、芸術・文化に触れる機会を提供できた。 (2) 芸術・文化活動を行う団体(6団体)が、練習の場として無料開放事業で延べ10回の利用があった。 2 市民の学習発表の場の提供 (1) 市民ギャラリーで、音楽活動の発表の場として33回ミニコンサートが開催され、駅前の賑わいづくりに貢献した。 (2) 育成事業として、ミュージカル基礎講座に小・中・高校生53名が23年度の舞台に向け基礎を学んだ。				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
	自主事業 入場者数	2,800人	2,300人	2,300人	2,700人
課 題	1 市民に親しまれるホールの充実 (1) 御調・向島・因島の各ホールでの事業展開が今後必要である。 2 市民の学習発表の場の提供 (1) 市民ギャラリーでミニコンサートを実施する団体等を誘致し更なる賑わいづくりが必要である。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	図書館資料の整備・充実		所管課	図書館
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	2	個性を生かした芸術・文化施設の充実と連携		
重点目標	1	魅力ある芸術・文化施設づくり		
目的	市民から親しまれる図書館づくり			

内 容	1 図書館資料の整備・充実 (1) 一般図書の整備・充実をする。 (2) 児童図書の整備・充実をする。 (3) 郷土資料の収集をする。																																														
	1 図書館資料の整備・充実 各図書館が、それぞれの館の特色にあった資料の収集を行った。																																														
取 組 状 況 と 成 果	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>一般図書</th> <th>児童図書</th> <th>郷土資料</th> <th>A V資料</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>4,654</td> <td>1,766</td> <td>264</td> <td>186</td> <td>6,870</td> </tr> <tr> <td>みつぎ子ども図書館</td> <td>927</td> <td>919</td> <td>26</td> <td>123</td> <td>1,995</td> </tr> <tr> <td>因島図書館</td> <td>2,440</td> <td>657</td> <td>60</td> <td>229</td> <td>3,386</td> </tr> <tr> <td>瀬戸田図書館</td> <td>1,317</td> <td>489</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>1,864</td> </tr> <tr> <td>向島子ども図書館</td> <td>1,400</td> <td>1,530</td> <td>62</td> <td>50</td> <td>3,042</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,738</td> <td>5,361</td> <td>443</td> <td>615</td> <td>17,157</td> </tr> </tbody> </table>					館名	一般図書	児童図書	郷土資料	A V資料	計	中央図書館	4,654	1,766	264	186	6,870	みつぎ子ども図書館	927	919	26	123	1,995	因島図書館	2,440	657	60	229	3,386	瀬戸田図書館	1,317	489	31	27	1,864	向島子ども図書館	1,400	1,530	62	50	3,042	合計	10,738	5,361	443	615	17,157
	館名	一般図書	児童図書	郷土資料	A V資料	計																																									
	中央図書館	4,654	1,766	264	186	6,870																																									
	みつぎ子ども図書館	927	919	26	123	1,995																																									
	因島図書館	2,440	657	60	229	3,386																																									
	瀬戸田図書館	1,317	489	31	27	1,864																																									
	向島子ども図書館	1,400	1,530	62	50	3,042																																									
合計	10,738	5,361	443	615	17,157																																										
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>20年度実績</th> <th>21年度実績</th> <th>22年度実績</th> <th>25年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書数</td> <td>442,037点</td> <td>478,526点</td> <td>495,683点</td> <td>540,000点</td> </tr> </tbody> </table>					成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標	蔵書数	442,037点	478,526点	495,683点	540,000点																																	
成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標																																											
蔵書数	442,037点	478,526点	495,683点	540,000点																																											
課 題	1 魅力のある図書館づくりをするためには、資料の充実が必要である。																																														
	2 限られた予算の中での、購入図書の選別が必要である。																																														
3 年々蔵書の増加に伴い、保管場所が手狭になってきている。																																															
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2																																										
	つくしプラン		その他	()																																										

評価点検シート

施策・事業名	魅力ある展覧会の開催等		所管課	美術館
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	2	個性を生かした芸術・文化施設の充実と連携		
重点目標	1	魅力ある芸術・文化施設づくり		
目的	開かれた美術館づくり			

内 容	1 魅力ある展覧会の開催 (1) 展覧会企画運営事業の実施 2 豊かな地域文化を育む情報発信 (1) ホームページ等の電子媒体を活用して、展覧会や所蔵品等の情報を発信し、美術館の魅力向上に努める。				
	取 組 状 況 と 成 果	1 魅力ある展覧会の開催 (1) 地域社会に貢献する質の高い展覧会を開催し、市民らの美術鑑賞機会の充実を図った。(特別展：3回、企画展：2回) 2 豊かな地域文化を育む情報発信 (1) 展覧会情報をホームページ等に掲載した。			
果		成果指標	20年度実績	21年度実績	22年度実績
	市立美術館入館者数	29,609人	30,355人	38,253人	50,000人
課 題	1 より一層質の高い、魅力ある美術館賞の機会提供と、市民に親しまれる企画による展覧会を開催していく必要がある。 2 展覧会情報や利用案内だけでなく、所蔵品の作品解説など、更にホームページ等の電子媒体を活用する範囲を広げる必要がある。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	協働による教育普及事業の実施		所管課	美術館
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	2	個性を生かした芸術・文化施設の充実と連携		
重点目標	1	魅力ある芸術・文化施設づくり		
目的	開かれた美術館づくり			

内 容	1 協働による教育普及事業の実施 (1) 各種展覧会にちなんだワークショップや関連事業等を開催する。				
	1 協働による教育普及事業の実施 (1) 「ギャラリートーク」、「わいわいがやがやおしゃべり鑑賞会」、「ミュージアムコンサート」やワークショップ等、展覧会に関連した教育普及事業の充実に取り組んだ。				
取 組 状 況 と 成 果	成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
	教育普及事業の開催回数	31 回	47 回	47 回	50 回
課 題	1 鑑賞教育の充実を図り、幅広い芸術文化への理解と支持に応えていくことで、地域文化の活性化に貢献していくために、市民との協働による教育普及活動に取り組んでいるが、より一層の、市民が日常的に芸術文化に親しむ機会と、豊かな感性を育む環境づくりに取り組む必要がある。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	()	

評価点検シート

施策・事業名	図書館の相互連携		所管課	図書館
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	2	個性を生かした芸術・文化施設の充実と連携		
重点目標	2	個性を生かした芸術・文化施設の連携		
目的	図書館の相互連携			

内 容	1 図書館の相互連携 尾道市立図書館 5 館の連携を図り、図書館サービスの向上に努める。					
	取 組 状 況 と 成 果	1 図書館の相互連携 (1) 図書館資料の相互貸借を行った。 (2) 図書館で布絵本や平山郁夫のパネル展等の巡回作品展を行った。 (3) 館長会議を開催し、課題の解決や同一の利用者サービスの提供を行うように努めた。				
成 果		成果指標	20 年度実績	21 年度実績	22 年度実績	25 年度目標
課 題	1 図書館資料の相互貸借は、総務課の委託業者により行っているため、火曜日から金曜日の取扱となり、取り寄せに時間がかかる。					
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2	
	つくしプラン		その他	()		

評価点検シート

施策・事業名	美術館の相互連携の充実		所管課	美術館
政策の柱	4	芸術・文化の継承と創造		
基本方針	2	個性を生かした芸術・文化施設の充実と連携		
重点目標	2	個性を生かした芸術・文化施設の連携		
目的	美術館の相互連携			

内 容	1 美術館の相互連携の充実 市内美術館との連携の充実により、市民が日常的に芸術・文化に触れる機会創出を図る。				
	取 組 状 況 と 成 果	1 美術館の相互連携の充実 (1) 美術館連携による情報の共有化の推進 ア 尾道市美術館ネットワークを組織し、情報の共有化と連携に取り組んだ。 イ 年2回の季刊誌を発行した。 (2) 美術館連携による教育普及事業の実施 第3回子ども学芸員の旅を開催し、定員60人が参加した。 (3) 美術館連携による絵画展の実施 第4回平山郁夫美術館賞を開催し、3,043人が出品した。			
成果指標		20年度実績	21年度実績	22年度実績	25年度目標
果	連携絵画展「平山郁夫美術館賞」出品者数	2,772人	2,942人	3,043人	3,300人
課 題	1 美術館連携事業の認知度は高まりつつあるが、事業内容について更なる情報発信を図る必要がある。				
各種計画掲載	市総合計画		新市建設計画		さくらプラン2
	つくしプラン		その他	(主要事業)	

学識経験者の意見等

教育委員会では、事業への取組状況等について点検及び評価を行うに当たって、教育に関し学識経験を有する方々に報告を行ない、貴重なご意見をいただきました。

これらの貴重なご意見を今後の施策・事業に活かし、さらに市民に信頼される教育行政を推進してまいります。

学識経験者

広島大学名誉教授 (元)鳴門教育大学長	溝 上 泰
広島大学大学院教育学研究科教授 広島大学附属東雲小・中学校長	林 孝
尾道市民生委員・児童委員	奥 本 美智子

意見聴取年月日

- 平成23年7月22日(金) 学識経験者に対する個別説明及び意見聴取
7月26日(火) 学識経験者に対する個別説明及び意見聴取
8月 8日(月) 学識経験者会議

学識経験者の意見等

1 総括的意見

- (1) 施策や事業において、全て網羅的に行うのではなく、「尾道らしさ」をもつ特色ある事業に選択と集中する時期にきている。
- (2) 施策や事業において、「人と人とのつながりを生み出す」ことに視点をおくことが必要である。幅広い人と人とのつながりが新たな施策展開に繋がることになる。
- (3) 地域の繋がりが希薄化するなかで、子どもたちが地域行事に積極的に参加することは、地域の活性化やまちづくりに重要な意義を有している。
- (4) 家庭・地域の教育力の向上と、学校・家庭・地域の連携にさらに取り組んでほしい。
- (5) 中学生の発達段階においては、本人の自立心が成長に大きな影響を与える。子どもたちの自立心を育むための取組に期待したい。
- (6) 施策や事業において、尾道大学との連携をさらに推進すべきである。
- (7) 成果指標の設定は、単に数値目標ではなく、目的に対して有効な施策であったかを検証するためのものであり、成果指標の選定や目標の設定等を工夫する必要がある。
- (8) 評価点検にあたっては、課題の抽出だけでなく、その課題への対応策や新年度での改善の方向性なども併せて記載すべきである。

2 学校教育関係

- (1) 学力向上のためには、生徒指導、学習習慣の確立、学習意欲を高めるための啓発等、幅広い取組が必要である。
- (2) 学習意欲の向上のためには、単に各種コンクールへの参加奨励だけではなく、その取組がどのように学習意欲向上に寄与するか等を検証する必要がある。
- (3) 学習・研究・研修の成果をどのように日常生活に役立てるかについても考えることが大切である。
- (4) 家庭を取り巻く状況が複雑化するなかで、家庭学習を奨励するだけでなく、よりきめ細やかな取組が必要である。

- (5) 立志式は、自らの夢や志を考える良い機会である。また、同年代の夢や志に触れる意義も大きい。今後も継続して取り組んでほしい。
- (6) 職場見学や職場体験は、職業観・勤労観を育成するだけでなく、親への感謝といった道德教育的側面もあり、有意義である。
- (7) 外国文化に触れることは、我が国の文化を知る上でも重要な教育機会である。外国語指導助手（ALT）の活用を引き続き推進すべきである。
- (8) 情報教育環境が整備されていることは評価できる。従来の教材とあわせて活用すべきである。
- (9) 幼児教育では、コミュニケーション力や基本的な生活習慣の定着を推進しており評価できる。今後は、内容の具体的検証等きめ細やかな取組に期待する。
- (10) 食育や健康教育の充実は、地産地消を含め、引き続き推進してほしい。
- (11) 食育や健康教育等は、子どもから大人まで幅広い対象者であり、市長部局や教育委員会が連携して取り組む必要がある。
- (12) 各学校での取組について情報を共有化することは重要であり、学校間での連携や教育委員会の役割が期待される。
- (13) 特色ある学校づくりとして、学校の伝統や地域との関わりを大切にした学校づくりが重要である。
- (14) 家庭や地域の結びつきが希薄化するなかで、学校の役割は大きくなっている。学校評議員や学校運営協議会の充実に期待する。
- (15) 指導力の向上にあたっては、研修による教員個人の資質向上に加え、学校全体の指導力を向上させる体制づくりが必要である。
- (16) 子どもの育成にあたっては、教員の指導力の向上が不可欠であり、しっかりと取り組んでほしい。

3 学校施設関係

- (1) 学校耐震化は、迅速かつ積極的に推進すべきである。
- (2) 施設整備は、整備計画を明示し、進捗状況等をよりわかりやすく示すべきである。

4 生涯学習関係

- (1) 生涯学習分野では、対象者数やニーズの把握が重要であり、幅広い情報収集に引き続き努めてほしい。

- (2) 公民館は、地域の拠点として重要であるが、公民館活動が活発化していることは評価したい。
- (3) 青少年の健全育成のため、補導員をはじめ地域や団体の地道な活動に感謝したい。
- (4) まちづくりでは、地域のリーダー育成や各種団体との連携が不可欠であり、人づくりをテーマとした生涯学習の取組に期待する。

5 芸術・文化・スポーツ関係

- (1) 尾道は多くの芸術・文化財産を有していることを再確認し、継承しなければならない。
- (2) 芸術・文化・スポーツ分野において、全国に発信するような視点での事業等を期待したい。例えば、「てっぱん」のように、全国での反響によって尾道の埋もれていた魅力に気づき、尾道が活性化することもある。
- (3) 図書館や美術館は、文化や地域の拠点として引き続き魅力的な事業を推進してほしい。
- (4) 施設は、「人が集う」ことが大切であり、利用しやすい運営に努めることが大切である。また、施設やイベントの情報提供について、その対象や方法等に工夫が必要である。